

4. 主専攻開講授業科目及び授業担当教員一覧

(1) 【看護教育・看護管理学分野】

区分	授 業 科 目	年 次	単位数		担 当 教 員 名	修了要件単位数
			必修	選択		
共通科目	健康情報論 *	1・2		2	栗原幸男	他分野の 分野科目と あわせて 12単位以上 又は16単位 以上
	保健統計論 *	1・2		2	奥谷文乃、齋藤美和	
	健康環境論 *	1・2		2	奥谷文乃	
	看護研究論 *	1		2	森木妙子、笹岡晴香、下元理恵、下田真梨子	
	看護理論 *	1		2	山脇京子	
	看護倫理 *	1		2	森木妙子、下元理恵	
	ペアレンティング学 *	1・2		2	関屋伸子、松本智津	
	看護英語 *	1・2		2	植田味佐(エルダープロフェッサー)	
	看護政策論	1・2		2	(本年度開講せず)	
病態生理学	1・2		2	溝淵俊二、佐藤美樹		
特別 研究 科目	特別研究（研究計画立案）	1・2		2	各指導教員	10単位又は 6単位
	特別研究（実験・調査）	1・2		2	〃	
	特別研究（ゼミナール）	1・2		2	〃	
	特別研究（論文作成）	1・2		2	〃	
	特別研究（研究発表）	1・2		2	〃	
	課題研究	1・2		6	〃	
分野 科目	看護教育・管理学特論Ⅰ	1・2	2		山脇京子、笹岡晴香	8単位
	看護教育・管理学特論Ⅱ	1・2	2		森木妙子	
	看護教育・管理学演習	1・2	2		森木妙子、山脇京子、下元理恵、下田真梨子	
	保健医療情報学演習	1・2	2		栗原幸男	
修了要件単位数 計						30単位以上

授業科目欄の*印は他専攻への開放科目。

二重線：当該授業の担当主任教員

※ 時限について

1時限	8：50～10：20
2時限	10：30～12：00
3時限	13：10～14：40
4時限	14：50～16：20
5時限	16：30～18：00
6時限	18：10～19：40
7時限	19：50～21：20

4. 主専攻開講授業科目及び授業担当教員一覧

(2) 【母子看護学分野母子看護学課程】

区分	授 業 科 目	年 次	単位数		担 当 教 員 名	修了要件 単位数
			必修	選択		
共通科目	健康情報論 *	1・2		2	<u>栗原幸男</u>	他分野の 分野科目と あわせて 12単位以上 又は16単位 以上
	保健統計論 *	1・2		2	<u>奥谷文乃</u> 、 <u>齋藤美和</u>	
	健康環境論 *	1・2		2	<u>奥谷文乃</u>	
	看護研究論 *	1		2	<u>森木妙子</u> 、 <u>笹岡晴香</u> 、 <u>下元理恵</u> 、 <u>下田真梨子</u>	
	看護理論 *	1		2	<u>山脇京子</u>	
	看護倫理 *	1		2	<u>森木妙子</u> 、 <u>下元理恵</u>	
	ペアレンティング学 *	1・2		2	<u>関屋伸子</u> 、 <u>松本智津</u>	
	看護英語 *	1・2		2	<u>植田味佐</u> (エルダープロフェッサー)	
	看護政策論	1・2		2	(本年度開講せず)	
病態生理学	1・2		2	<u>溝渕俊二</u> 、 <u>佐藤美樹</u>		
特別 研究 科目	特別研究（研究計画立案）	1・2		2	各指導教員	10単位又は 6単位
	特別研究（実験・調査）	1・2		2	〃	
	特別研究（ゼミナール）	1・2		2	〃	
	特別研究（論文作成）	1・2		2	〃	
	特別研究（研究発表）	1・2		2	〃	
課題研究	1・2		6	〃		
分 野 科 目	母子看護学特論Ⅰ	1・2	2		<u>関屋伸子</u> 、 <u>松本智津</u>	8単位
	母子看護学特論Ⅱ	1・2	2		<u>関屋伸子</u> 、 <u>松本智津</u> 、 <u>濱田佳代子</u> 、 <u>小松輝子</u> 、 <u>吉村澄佳</u> 、 <u>川合弘恭</u>	
	母子看護学演習	1・2	4		<u>関屋伸子</u> 、 <u>松本智津</u> 、 <u>濱田佳代子</u> 、 <u>小松輝子</u> 、 <u>吉村澄佳</u> 、 <u>川合弘恭</u> 、 <u>植田味佐</u> (エルダープロフェッサー)	
修了要件単位数 計						30単位以上

授業科目欄の*印は他専攻への開放科目。

二重線：当該授業の担当主任教員

※ 時限について

1時限	8：50～10：20
2時限	10：30～12：00
3時限	13：10～14：40
4時限	14：50～16：20
5時限	16：30～18：00
6時限	18：10～19：40
7時限	19：50～21：20

4. 主専攻開講授業科目及び授業担当教員一覧

(3) 【母子看護学分野実践助産学課程】

区分	授 業 科 目	年 次	単位数		担 当 教 員 名	修了要件 単位数
			必修	選択		
共通科目	健康情報論 *	1・2		2	栗原幸男	他分野の 分野科目と あわせて 12単位以上 又は16単位 以上
	保健統計論 *	1・2		2	奥谷文乃、齋藤美和	
	健康環境論 *	1・2		2	奥谷文乃	
	看護研究論 *	1		2	森木妙子、笹岡晴香、下元理恵、下田真梨子	
	看護理論 *	1		2	山脇京子	
	看護倫理 *	1		2	森木妙子、下元理恵	
	ペアレンティング学 *	1・2		2	関屋伸子、松本智津	
	看護英語 *	1・2		2	植田味佐(エルダープロフェッサー)	
	看護政策論	1・2		2	(本年度開講せず)	
	病態生理学	1・2		2	溝渕俊二、佐藤美樹	
特別 研究 科目	特別研究(研究計画立案)	1・2		2	各指導教員	10単位又は 6単位
	特別研究(実験・調査)	1・2		2	〃	
	特別研究(ゼミナール)	1・2		2	〃	
	特別研究(論文作成)	1・2		2	〃	
	特別研究(研究発表)	1・2		2	〃	
	課題研究	1・2		6	〃	
分野 科目	母子看護学特論Ⅰ	1・2	2		関屋伸子、松本智津	8単位
	母子看護学特論Ⅱ	1・2	2		関屋伸子、松本智津、濱田佳代子、小松輝子、吉村澄佳、川合弘恭	
	母子看護学演習	1・2	4		関屋伸子、松本智津、濱田佳代子、小松輝子、吉村澄佳、川合弘恭、植田味佐(エルダープロフェッサー)	
基礎助産学 科目	助産学特論	1	1		関屋伸子	2単位
	ウイメンズヘルス論	1	1		濱田佳代子	
助産学 実践 科目	助産診断・技術学基礎	1	1		濱田佳代子、松本智津	23単位
	助産診断・技術学特論Ⅰ	1	1		濱田佳代子、溝渕俊二	
	助産診断・技術学特論Ⅱ	1	1		小松輝子、濱田佳代子	
	助産診断・技術学演習	1	3		濱田佳代子、小松輝子、松本智津	
	周産期ハイリスク論	1	1		関屋伸子	
	周産期医療システム論	1	1		濱田佳代子、栗原幸男、奥谷文乃、奥原義保	
	母子精神病理学	1	1		小松輝子	
	コンサルテーション論	1	1		関屋伸子、高橋美美	
	助産学実習Ⅰ(注)	1	2		濱田佳代子、小松輝子、吉村澄佳、関屋伸子	
	助産学実習Ⅱ(注)	1・2	7		小松輝子、濱田佳代子、吉村澄佳、関屋伸子	
地域助産学実習	1・2	4		関屋伸子、濱田佳代子、小松輝子、吉村澄佳		
助産学関連 科目	地域母子保健診断学	1	1		関屋伸子	3単位
	助産管理学	1	2		関屋伸子	
修了要件単位数 計						58単位以上

授業科目欄の*印は他専攻への開放科目。

(注) 男子の履修不可科目。

二重線：当該授業の担当主任教員

※ 時限について

1時限	8:50～10:20
2時限	10:30～12:00
3時限	13:10～14:40
4時限	14:50～16:20
5時限	16:30～18:00
6時限	18:10～19:40
7時限	19:50～21:20

4. 主専攻開講授業科目及び授業担当教員一覧

(4) 【成人・老人看護学分野】

区分	授 業 科 目	年 次	単位数		担 当 教 員 名	修了要件 単位数
			必修	選択		
共通科目	健康情報論 *	1・2		2	栗原幸男	他分野の 分野科目と あわせて 12単位以上 又は16単位 以上
	保健統計論 *	1・2		2	奥谷文乃、齋藤美和	
	健康環境論 *	1・2		2	奥谷文乃	
	看護研究論 *	1		2	森木妙子、笹岡晴香、下元理恵、下田真梨子	
	看護理論 *	1		2	山脇京子	
	看護倫理 *	1		2	森木妙子、下元理恵	
	ペアレンティング学 *	1・2		2	関屋伸子、松本智津	
	看護英語 *	1・2		2	植田味佐(エルダープロフェッサー)	
	看護政策論	1・2		2	(本年度開講せず)	
	病態生理学	1・2		2	溝渕俊二、佐藤美樹	
特別研究科目	特別研究(研究計画立案)	1・2		2	各指導教員	10単位又は 6単位
	特別研究(実験・調査)	1・2		2	〃	
	特別研究(ゼミナール)	1・2		2	〃	
	特別研究(論文作成)	1・2		2	〃	
	特別研究(研究発表)	1・2		2	〃	
	課題研究	1・2		6	〃	
分野科目	成人・老人看護学特論Ⅰ	1・2	2		溝渕俊二、山脇京子、佐藤美樹、高橋美美、竹村多加、林 昌子、寺下憲一郎	8単位
	成人・老人看護学特論Ⅱ	1・2	2		山脇京子、田淵啓二、齋藤美和、杉本加代、小笠原木綿、和田庸平	
	成人・老人看護学演習	1・2	4		山脇京子、佐藤美樹、田淵啓二、高橋美美、小笠原木綿、寺下憲一郎、和田庸平	
修了要件単位数 計						30単位以上

授業科目欄の*印は他専攻への開放科目。

二重線：当該授業の担当主任教員

※ 時限について

1時限	8:50～10:20
2時限	10:30～12:00
3時限	13:10～14:40
4時限	14:50～16:20
5時限	16:30～18:00
6時限	18:10～19:40
7時限	19:50～21:20

特 別 研 究

到達目標

大学院で学んだ科目の成果をふまえ、自己の研究テーマについて教員と論議を行い、研究計画書を作成する。そして、倫理的な配慮のもと根拠に基づいた研究方法・成果をふまえて論文を完成し発表する一連の研究プロセスを修得する。

特別研究（研究計画立案）

- ・課題意識を明確にし、研究テーマを設定できる。
- ・研究テーマに関する文献レビューし、研究課題を位置づけられる。
- ・研究枠組みおよび概念枠組みを明確にできる。
- ・研究テーマに適した研究方法を選択できる。
- ・配慮すべき倫理的な事項を列挙できる。
- ・研究計画書を決められた形式で作成できる。

特別研究（実験・調査）

- ・研究計画書にそって、具体的に実験・調査を設定できる。
- ・実験・調査を実際に行う中で、必要な技術を修得する。
- ・研究の信頼性、妥当性を確保するための事項を理解している。
- ・当該実験・調査の限界と課題を理解している。
- ・実験・調査のデータ分析が適切に行える。
- ・実験・調査から得られた結果を検討し、新しい知見を抽出できる。

特別研究（ゼミナール）

- ・研究課題を分かり易く説明できる。
- ・研究の問題点を他者と議論し、深められる。
- ・ゼミでの他者の意見を参考に、研究方法等の改善ができる。

特別研究（論文作成）

- ・基本的な論文構成（緒言・研究方法・結果・考察・結語・引用文献）に従って、論文を作成できる。
- ・研究内容を分かり易く、正確に記述できる。
- ・研究の論理を明確に記述できる。
- ・倫理上の配慮した記述ができる。

特別研究（研究発表）

- ・発表要旨・抄録を作成できる。
- ・研究内容を分かり易く表現したスライドおよび発表原稿を作成できる。
- ・発表時間内で分かり易く研究内容を説明できる。
- ・質問の意図を理解しようと努める。
- ・質問に対して、適切な回答をするように努める。

課 題 研 究

到達目標

医療の場を含む人々の健康的な生活の場で生じる諸々の現象をふまえて、主専攻と「看護学の発展」の視座から課題を探求し、教員の指導のもとに論文を作成する。

課題研究（研究計画立案） 2単位

- ・課題意識を明確にし、研究テーマを設定できる
- ・テーマに関する文献検索し、研究課題を位置づけられる
- ・研究テーマに適した研究方法を選択できる
- ・配慮すべき倫理的な事項を列挙できる
- ・研究計画書を決められた形式で作成できる

課題研究（調査・ゼミナール） 2単位

- ・研究計画書にそって具体的の実験・調査を設定できる
- ・研究の信頼性・妥当性を確保するための事項を理解している
- ・実験・調査のデータ分析が適切に行える
- ・研究の問題・課題を他者と議論し深められる
- ・ゼミナールで他者の意見を参考に研究方法などの改善ができる

課題研究（論文作成・発表） 2単位

- ・基本的な論文構成（緒言、研究方法、結果、考察、結語、引用文献）に従って論文を作成できる
- ・論理的で一貫性がある論文を作成できる
- ・倫理的に配慮した記述ができる
- ・発表要旨や抄録を作成できる
- ・研究内容をわかりやすく発表できる
- ・質問に対して適切な回答をすることができる

授業コード	16701	授業科目名	健康情報論			単位数	2単位
授業種別	講義	履修開始年次	1年次	開講時期	第1学期	曜日・時限	月・6,7
担当教員	○印は担当責任者 ○栗原 幸男 (基礎看護学講座) (880-2524, kurihary@kochi-u.ac.jp)						
オフィスアワー	事前に予約をとること。						
学生の相談場所	保健医療情報学教室						
履修希望学生に求めるもの	保健・医療情報の活用を意識的に関心を持つこと						
キーワード	保健医療情報学、ICT活用、情報化、グローバルな視点、現場に根ざした視点						
科目の目標 (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・健康に関わる情報の特性を理解する。 ・健康課題を現場に根ざした視点とグローバルな視点から検討できる。 ・健康支援に必要なICT活用を理解する。 ・健康支援のための保健・医療情報の活用の視点を理解する。 						
授業計画	1回 健康課題に関する学際的な視点 2回 健康に対するローカルな視点からグローバルな視点 3回 ローカル(県内から四国内)な健康課題についての全体検討 4回～7回 ローカル課題の資料調査とICT活用による解決策のグループ検討 8回～9回 グループ検討報告と全体検討 10回 グローバル(国内から世界)な健康課題についての全体検討 11回～13回 グローバル課題の資料調査とICT活用による解決策のグループ検討 14回 グループ検討報告と全体検討 15回 総合討論						
成績評価方法	各自の発表(40点)と討論への寄与度(60点)で評価する。						
教科書・参考図書	1. Marion J. Ball, Kathryn J. Hannah and etc. Health Informatics: Nursing Informatics. Springer. 2. 日本医療情報学会医療情報技師部会. 医療情報第2版 医療情報システム編. 篠原出版新社. 3. Rita D. Zielstorff (編)、西垣 克(監訳). 看護とコンピュータ. 医歯薬出版.						
履修上の注意	毎回の授業参加が成績評価になって行くので、出席に努めること。						

授 業 日 程 表

授業科目：健康情報論

講義回数	授業日 (年月日)	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	6月17日	月	7	健康課題に関する学際的な視点	栗原幸男	看護学科棟保健指導室および情報処理実習室（2階）
2	6月24日	月	6	健康に対するローカルな視点からグローバルな視点	同上	
3			7	ローカル（県内から四国内）な健康課題についての全体検討	同上	
4	7月1日	月	6	ローカル課題の資料調査とICT活用による解決策のグループ検討	同上	
5			7	同上	同上	
6	7月8日	月	6	同上	同上	
7			7	同上	同上	
8	7月22日	月	6	グループ検討報告と全体検討	同上	
9			7	同上	同上	
10	7月29日	月	6	同上グローバル（国内から世界）な健康課題についての全体検討	同上	
11			7	グローバル課題の資料調査とICT活用による解決策のグループ検討	同上	
12	8月5日	月	6	同上	同上	
13			7	同上	同上	
14	9月2日	月	6	グループ検討報告と全体検討	同上	
15			7	総合討論	同上	

授業コード	16702	授業科目名	保健統計論			単位数	2単位
授業種別	講義	履修開始年次	1年次	開講時期	第1学期	曜日・時限	月・6,7
担当教員	○印は担当責任者 ○奥谷 文乃 (地域看護学講座) (880-2560, okutanif@kochi-u.ac.jp) 齋藤 美和 (地域看護学講座)						
オフィスアワー	アポイントメントがあれば、いつでも可						
学生の相談場所	看護学科4階 教員研究室						
履修希望学生に求めるもの	ノートパソコンの基本的な操作に慣れておくこと						
キーワード	量的研究、データ解析、有意差						
科目の目標 (到達目標)	1. 看護研究で用いられる基本的な統計処理方法を理解する 2. データの種類に応じて適切な統計処理方法を決定できる 3. 看護研究論文を読んで実際に使われている統計処理方法から内容を正しく理解する						
授業計画	講義は看護学科4階 地域・在宅共同研究室で行う (人数が多くて入りきらないときは4階 実習室とする) 1. 4月 15日 (月) 6限 オリエンテーション 2. 4月 15日 (月) 7限 アンケート調査表の作り方 3. 4月 22日 (月) 6限 グラフ表現 4. 4月 22日 (月) 7限 散布図と相関 5. 5月 13日 (月) 6限 相関係数 6. 5月 13日 (月) 7限 相関係数の検定 7. 5月 20日 (月) 6限 クロス集計 8. 5月 20日 (月) 7限 独立性・比率の検定 9. 5月 27日 (月) 6限 平均の差の検定 10. 5月 27日 (月) 7限 分散の検定 11. 6月 3日 (月) 6限 看護研究論文における統計手法の実際Ⅰ 12. 6月 3日 (月) 7限 看護研究論文における統計手法の実際Ⅱ 13. 6月 10日 (月) 6限 看護研究論文における統計手法の実際Ⅲ 14. 6月 10日 (月) 7限 看護研究論文における統計手法の実際Ⅳ 15. 6月 17日 (月) 6限 振り返り						
成績評価方法							
教科書・参考図書	東京図書 Excelでやさしく学ぶ アンケート調査と統計処理2013 石村貞夫・加藤千恵子・劉農・石村友二郎 著 B5判変形 240頁 本体2500円＋税 ISBN978-4-489-02190-9 C3040						
履修上の注意	Microsoft Officeがインストールされたノートパソコンが必携. 教科書に沿って進めるので、予め欠席がわかっている者は履修を認めない.						

授業コード	16703	授業科目名	健康環境論			単位数	2単位
授業種別	講義	履修開始年次	1年次	開講時期	第2学期	曜日・時限	月・6,7
担当教員	○印は担当責任者 ○奥谷 文乃（地域看護学講座）（880-2560, okutanif@kochi-u.ac.jp）						
オフィスアワー	アポイントメントがあれば、いつでも可						
学生の相談場所	看護学科4階 教員研究室						
履修希望学生に求めるもの	臨床の現場で感じた疑問を大切にすること						
キーワード	生理学、ホメオスターシス、病態生理						
科目の目標（到達目標）	1) ホメオスターシスの概念を理解する 2) 生体の二大調節系である、内分泌性および神経性調節機構を理解する 3) 環境の変化を察知する感覚機能を理解する						
授業計画	講義は看護学科4階 地域・在宅共同研究室で行う 1) 12月 9日(月)7限 ホメオスターシスとは 2) 12月 16日(月)6限 生体の二大調節系について 3) 12月 16日(月)7限 神経細胞の基本的機能と神経系の解剖 4) 12月 23日(月)6限 神経性調節Ⅰ 5) 12月 23日(月)7限 神経性調節Ⅱ 6) 1月 20日(月)6限 神経性調節Ⅲ 7) 1月 20日(月)7限 神経性調節Ⅳ 8) 1月 27日(月)6限 内分泌調節Ⅰ 9) 1月 27日(月)7限 内分泌調節Ⅱ 10) 1月 29日(水)6限 内分泌調節Ⅲ 11) 1月 29日(水)7限 内分泌調節Ⅳ 12) 1月 30日(木)6限 ディスカッション 13) 1月 30日(木)7限 ディスカッション 14) 2月 3日(月)6限 ディスカッション 15) 2月 3日(月)7限 ディスカッション						
成績評価方法							
教科書・参考図書	これまでに用いた生理学の教科書						
履修上の注意	ノートをとることが多いので、筆記用具を持参すること。1月末に補講がある。						

授業コード	16704	授業科目名	看護研究論			単位数	2単位
授業種別	講義	履修開始年次	1年次	開講時期	第1学期	曜日・時限	金6・7
担当教員	○印は担当責任者 ○森木 妙子（基礎看護学講座） （088-880-2558, morikita@kochi-u.ac.jp） 笹岡 晴香（基礎看護学講座）（088-880-2535, nomurah@kochi-u.ac.jp） 下元 理恵（基礎看護学講座） （088-880-2532, shimomot@kochi-u.ac.jp） 下田真梨子（基礎看護学講座）（088-880-2552, s-mariko@kochi-u.ac.jp）						
オフィスアワー	水・木 事前に予約をしてください						
学生の相談場所	森木研究室 笹岡研究室 下元研究室 下田研究室 （いずれも3階）						
履修希望学生に求めるもの	能動的学習と自らの考えを言語化し、他者に伝える力が重要であり、積極的発言を望む						
キーワード	看護研究、研究方法、文献検討、クリティーク						
科目の目標（到達目標）	1. 基本的な研究方法や研究プロセスが理解できる 2. 研究における倫理について理解できる 3. 文献のクリティークの方法について理解できる 4. 自らの関心領域の文献を検討的検索・検討（レビュー）ができる						
授業計画	1. 看護と研究 2. 看護研究のプロセスと文献検索・文献検討 3. 研究デザイン 4. 研究の倫理 5. 研究論文クリティーク 6. 研究計画書立案						
成績評価方法	講義への参加度、課題への取り組み、プレゼンテーション、討議に対する発言を総合的に評価する						
参考図書	1) D.F. ポーリット, C.T. ベック著, 近藤潤子監訳: 看護研究—原理と方法 第2版, 医学書院, 2010. 2) S.K. グローブ, N. バーンズ他著, 黒田裕子他監訳: 看護研究入門—評価・統合・エビデンスの生成 第7版, エルゼビア・ジャパン, 2015. 3) 南裕子他編集: 看護における研究 第2版, 日本看護協会出版会, 2017. 4) 山川みやえ他著: よくわかる看護研究論文クリティーク, 日本看護協会出版会, 2014.						
履修上の注意	講義テーマにそって必要な資料・文献を読み、討議ができるように準備をして履修する						

授 業 日 程 表

授業科目：看護研究論

講義回数	授業日 (月日)	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	4月12日	金	6	看護と研究、看護研究のプロセス	森木	3 階 基 礎 看 護 学 講 座 共 同 研 究 室
2			7	演繹的推論と帰納的推論 文献検索・文献検討（1）	森木 下田	
3	4月19日	金	6	文献検索・文献検討（2）	森木・下田	
4			7	研究デザイン（量的研究）	笹岡	
5	4月26日	金	6	データ収集とデータ分析（量的研究）	笹岡	
6			7	研究デザイン（質的研究）	下元	
7	5月10日	金	6	データ収集とデータ分析（質的研究）	下元	
8			7	研究の倫理 研究のプロセスにおける倫理	下元	
9	5月17日	金	6			
10			7	研究論文クリティーク（1）		
11	5月24日	金	6	研究論文クリティーク（2）	笹岡・下元	
12			7	研究論文クリティーク（3）	笹岡・下元	
13	5月31日	金	6	研究計画書立案（1）	笹岡・下元	
14			7	研究計画書立案（2）	笹岡・下元	
15	6月7日	金	6	研究計画書立案（3）	笹岡・下元	

授業コード	16705	授業科目名	看護理論			単位数	2単位
授業種別	講義	履修開始年次	1年次	開講時期	第1学期	曜日・時限	火・6,7
担当教員	○印は担当責任者 ○山脇 京子（臨床看護学講座）（880-2531, y-kyou@kochi-u.ac.jp）						
オフィスアワー	火曜日6限（事前連絡要）						
学生の相談場所	成人看護学（7階）共同研究室						
履修希望学生に求めるもの	学びを臨床現場や教育・研究に活用できるように理解を深めてください。						
キーワード	看護理論、哲学、大理論、中範囲理論						
科目の目標（到達目標）	1. 看護学における看護理論の位置づけを学び、これまでに開発された諸理論について理解する。 2. 看護実践の中で応用可能な中範囲理論と基礎となる広範囲理論の概念について理解し、活用法について説明できる。 3. 学生の看護実践の具体的現象を取り上げ、理論を用いて説明できる。						
授業計画	1. ガイダンス 2. 看護理論の発展、実践・教育・研究における看護理論の重要性 3. 看護理論の分類（大理論・中範囲理論・実践理論） 4. 看護理論分析（1）discussion 5. 看護理論分析（2）discussion 6. 看護理論分析（3）discussion 7. クリティーク（1）discussion 8. クリティーク（2）discussion 9. クリティーク（3）discussion 10. 看護実践の理論への適用（1）哲学 presentation、discussion 11. 看護実践の理論への適用（2）大理論 presentation、discussion 12. 看護実践の理論への適用（3）中範囲理論 presentation、discussion 13. 看護実践の理論への適用（4）中範囲理論 presentation、discussion 14. 看護実践の理論への適用（5）中範囲理論 presentation、discussion 15. まとめ						
成績評価方法	授業・ディスカッションへの参加状況とプレゼンテーション、レポートにより総合的に評価する						
教科書・参考図書	使用教科書 1. Ann Marriner-Tomey 都留伸子監訳：Nursing Theorists And Their Work 看護理論家とその業績第3版、医学書院、2004. 参考書 1. Julia B. George 南裕子他訳：NURSING THEORIES TheBase for Professional Nursing Practice 看護理論集 日本看護協会出版会、2003.						
履修上の注意	ディスカッションが深まるよう、プレゼンテーションの理論について理解して授業に臨んでください。						

授 業 日 程 表

授業科目：看護理論

講義回数	授業日 (年月日)	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	6月11日	火	7	ガイダンス	山脇	成人看護学（7階） 共同研究室
2	6月18日	火	6	看護理論の発展、 実践・教育・研究における看護理論の重要性	山脇	
3			7	看護理論の分類 (大理論・中範囲理論・実践理論)	山脇	
4	6月25日	火	6	看護理論分析（1）discussion	山脇	
5			7	看護理論分析（2）discussion	山脇	
6	7月2日	火	6	看護理論分析（3）discussion	山脇	
7			7	クリティーク（1）discussion	山脇	
8	7月9日	火	6	クリティーク（2）discussion	山脇	
9			7	クリティーク（3）discussion	山脇	
10	7月16日	火	6	看護実践の理論への適用（1）哲学： presentation、discussion	山脇	
11			7	看護実践の理論への適用（2）大理論 presentation、discussion	山脇	
12	7月23日	火	6	看護実践の理論への適用（3）中範囲理論 presentation、discussion	山脇	
13			7	看護実践の理論への適用（4）中範囲理論 presentation、discussion	山脇	
14	7月30日	火	6	看護実践の理論への適用（5）中範囲理論 presentation、discussion	山脇	
15			7	まとめ	山脇	

授業コード	16706	授業科目名	看護倫理			単位数	2単位
授業種別	講義	履修開始年次	1年次	開講時期	第2学期	曜日・時限	月6・7
担当教員	○印は担当責任者 ○森木 妙子(基礎看護学講座) (088-880-2558, morikita@kochi-u.ac.jp) 下元 理恵(基礎看護学講座) (088-880-2532, shimomot@kochi-u.ac.jp)						
オフィスアワー	水・木 事前に予約をしてください						
学生の相談場所	森木研究室 下元研究室 (いずれも3階)						
履修希望学生に求めるもの	能動的学習と自らの考えを言語化し、他者に伝える力が重要であり、積極的発言を望む						
キーワード	倫理的ジレンマ、倫理指針、倫理分析、研究の倫理						
科目の目標(到達目標)	1. 倫理的問題を分析するための基本的な原則、概念について理解できる 2. 臨床での倫理的問題について、分析解釈し、倫理的行動の実現の明確化ができる 3. 研究における倫理について理解できる						
授業計画	1. 医療倫理・看護倫理の変遷、倫理原則 2. 看護実践にかかわる倫理的概念 アドボカシー、インフォームドコンセント、自律尊重、 アドバンスディレクティブ・アドバンスケアプランニング、 資源配分、代理意思決定、遺伝情報・遺伝子治療、個人情報・守秘 3. 倫理的意思決定 4. 倫理的問題と分析の方法 5. 研究の倫理						
成績評価方法	講義への参加度、課題への取り組み、プレゼンテーション、討議に対する発言を総合的に評価する						
参考図書	1) サラT.フライ著、片田範子、山本あい子訳：看護実践の倫理 倫理的意思決定のためのガイド、日本看護協会出版会、2002. 2) 小西恵美子編：看護倫理—よい看護・よい看護師への道しるべ 第2版、南江堂、2015. 3) 杉谷藤子他：ケアを深める看護倫理の事例検討、日本看護協会出版会、2011. 4) デービス・AJ監修、見藤隆子・小西恵美子・坂川雅子編：看護倫理を教える・学ぶ—倫理・実践・研究、日本看護協会出版会、2002.						
履修上の注意	講義テーマにそって必要な資料・文献を読み、討議ができるように準備をして履修する						

授 業 日 程 表

授業科目：看護倫理

講義回数	授業日 (月日)	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	10月7日	月	6	研究の倫理(1) 人を対象とする医学系倫理指針、科学者の行動規範	下元	3 階 基 礎 看 護 学 講 座 共 同 研 究 室
2			7	研究の倫理(2) ミスコンダクトとその防止、発表の倫理	下元	
3	10月21日	月	6	生命倫理と看護倫理の変遷	森木	
4			7	倫理原則、倫理綱領	森木	
5	10月28日	月	6	看護実践にかかわる倫理的概念(1) アドボカシー、インフォームドコンセント、自律尊重	下元	
6			7		下元	
7	11月11日	月	6	看護実践にかかわる倫理的概念(2) アドバンスディレクティブ・アドバンスケアプランニング、資源配分	下元	
8			7		下元	
9	11月18日	月	6	看護実践にかかわる倫理的概念(3) 代理意思決定、 遺伝子情報・遺伝子治療	下元	
10			7	看護実践にかかわる倫理的概念(4) 個人情報・守秘	下元	
11	11月25日	月	6	倫理分析の手法と倫理的意思決定のプロセス	下元	
12			7	身近な倫理的問題の分析の実際(1)	下元	
13	12月2日	月	6	身近な倫理的問題の分析の実際(2)	下元	
14			7	身近な倫理的問題の分析の実際(3)	下元	
15	12月9日	月	6	身近な倫理的問題の分析の実際(4)	下元	

授業コード	16707	授業科目名	ペアレンティング学			単位数	2単位
授業種別	講義	履修開始年次	1年次	開講時期	第1学期	曜日・時限	水・6
担当教員	○印は担当責任者 ○関屋伸子（専門領域：母性看護学・助産学）n-sekiya@kochi-u.ac.jp 松本智津（専門領域：小児看護学）						
オフィスアワー	事前連絡を行い教員と日程調整する。						
学生の相談場所	医学部看護学科棟5階 共同研究室						
履修希望学生に求めるもの	<ul style="list-style-type: none"> ・授業は講義とグループワークや発表などを中心とします。従って、主体的かつ能動的な姿勢で授業に臨んでください。 ・提示した参考文献以外にも、関連図書や雑誌などの様々なリソースから自主的に情報収集をして考察を深めましょう。 						
キーワード	ペアレンティング、親らしさ、家族看護、次世代育成						
科目の目標（到達目標）	<ol style="list-style-type: none"> 1. ペアレンティングの理念を理解し、家族発達理論からみた親になるプロセスへの支援を考察する。 2. 現代における「子育て」の課題からペアレンティング障害を考察する。 3. 家族看護学からみた次世代育成を検討する。 4. 諸外国におけるparenting Educationについて理解し、親と子の絆をつなぐペアレンティング・プログラムを検討する。 5. ペアレンティングにおける看護の役割を考察する。 						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ペアレンティングの理念 2. 家族発達理論からみたペアレンティングの意義 3. 親になるプロセスとその課題 4. 現代における「子育て」の課題と看護診断(NANDA-I)からみたペアレンティング障害 5-6. 家族看護学および家族システムからみた次世代育成 7. 外国におけるparenting Education（親と子の絆をつなぐペアレンティング・プログラム） 8-9. ペアレンティング支援の検討Ⅰ（文献検討） 10-14. ペアレンティング支援の検討Ⅱ（プレゼンテーション） 15. ペアレンティングにおける看護の役割、まとめ 						
成績評価方法	課題レポート、プレゼンテーション、授業参加態度						
教科書・参考図書	参考図書 <ul style="list-style-type: none"> ・鈴木和子、渡辺裕子：『家族看護学 理論と実践』第3版。日本看護協会出版会 ・中釜洋子、野末武義、布柴靖枝、無藤清子：『家族心理学 家族システムの発達と臨床的援助』。有斐閣ブックス ・上野勝代、吉村恵、室崎生子、葛西リサ、吉中季子、梶木典子：『あたりまえの暮らしを保障する国デンマーク：DVシェルター・子育て環境』。ドメス出版 						
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席する場合は事前に連絡をください。 ・日程および担当教員等の詳細は後日提示します。 						

授業コード	16708	授業科目名	看護英語			単位数	2単位
授業種別	講義	履修開始年次	1年次	開講時期	第2学期	曜日・時限	火・6
担当教員	○印は担当責任者 ○植田 味佐(エルダープロフェッサー)						
オフィスアワー	午後5時以降, 要予約						
学生の相談場所	医学部看護学科棟5階母性共同研究室及び母性実習室						
履修希望学生に求めるもの	能動的に学ぶ姿勢						
キーワード	医療及び看護用語・グローバルな視点						
科目の目標(到達目標)	看護及び医療に関する研究論文について数多く購読し、グローバルな視点を持ちながら、基本的な医学・看護用語の習得と基礎的な英語読解力を強化し、自らの専門領域の英語論文を読みこなす力をつける。また、修士論文研究作成に必要な英語力全般の能力を培う。						
授業計画	1-15 Developments in the world * 2019年10月1日(火)~2020年1月21日(火)までの15回を予定						
成績評価方法	出席, プレゼンテーション, 等による評価						
教科書・参考図書	教科書及び参考書等 1) www.voanews.com/specialenglish/ 2) Longman Dictionary of Contemporary English						
履修上の注意							

授 業 日 程 表

授業科目：看護英語

講義回数	授業日 (年月日)	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	10月1日	火	6	Current topics in pediatric maternal nursing	植田 味佐	看護学科棟母性共同研究室・5階
2	10月8日	火	6	同上	植田 味佐	
3	10月15日	火	6	同上	植田 味佐	
4	10月29日	火	6	同上	植田 味佐	
5	11月5日	火	6	同上	植田 味佐	
6	11月12日	火	6	同上	植田 味佐	
7	11月19日	火	6	同上	植田 味佐	
8	11月26日	火	6	同上	植田 味佐	
9	12月3日	火	6	同上	植田 味佐	
10	12月10日	火	6	同上	植田 味佐	
11	12月17日	火	6	同上	植田 味佐	
12	12月24日	火	6	同上	植田 味佐	
13	1月7日	火	6	同上	植田 味佐	
14	1月14日	火	6	同上	植田 味佐	
15	1月21日	火	6	同上	植田 味佐	

授業コード	16710	授業科目名	病態生理学			単位数	2単位
授業種別	講義	履修開始年次	1年次	開講時期	第1学期	曜日・時限	木・6
担当教員	○印は担当責任者 ○溝渕 俊二 (臨床看護学講座) (Email: mizoshun@kochi-u.ac.jp) 佐藤 美樹 (臨床看護学講座) (Email: m-sato@kochi-u.ac.jp)						
オフィスアワー							
学生の相談場所	看護学科棟7階奥から2番目溝渕教員室、3番目佐藤教員室						
履修希望学生に求めるもの	特になし						
キーワード	解剖学、生理学、病態学、看護実践						
科目の目標 (到達目標)	科目の目標： 主要な症候の病態生理を学習し、患者の病態生理を踏まえた上で、高度な看護実践ができるための基礎的能力を養う。 到達目標： 1. 主たる症候の病態生理が理解できる。 2. 学習内容を活用して、事例の病態関連図を作成し、説明できる。 3. 事例について病態を踏まえた看護援助の方向性が説明できる。						
授業計画	1. 呼吸障害 (担当教員 溝渕) 2. 呼吸不全と呼吸管理 (担当教員 溝渕) 3. 循環障害 (担当教員 溝渕) 4. 循環器疾患の病態と管理 (担当教員 溝渕) 5. 心不全の病態と管理 (担当教員 溝渕) 6. 代謝・内分泌障害 (担当教員 溝渕) 7. 消化器・肝機能障害 (担当教員 溝渕) 8. 栄養管理 (担当教員 溝渕) 9. 体液不均衡 (担当教員 溝渕) 10. 感染・炎症 (担当教員 溝渕) 11. 血液疾患の病態と管理 (担当教員 溝渕) 12. 事例展開 (担当教員 佐藤・溝渕) 13. 事例展開 (担当教員 佐藤・溝渕) 14. 事例展開 (担当教員 佐藤・溝渕) 15. 事例展開 (発表) (担当教員 佐藤・溝渕)						
成績評価方法	出席、プレゼンテーション、課題レポート等						
教科書・参考図書	田中 越郎：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[2] 病態生理学, 医学書院						
履修上の注意	履修者は、初回（平成31年4月11日（木））溝渕教員室に来てください。						

授業コード	16801	授業科目名	看護教育・管理学特論 I			単位数	2単位
授業種別	講義	履修開始年次	1年次	開講時期	第1学期	曜日・時限	火・6,7
担当教員	○印は担当責任者 ○山脇京子（臨床看護学講座） 088-880-2531. y-kyou@kochi-u.ac.jp 笹岡晴香（基礎看護学講座） 088-880-2535. nomurah@kochi-u.ac.jp						
オフィスアワー	山脇・笹岡（水曜日6限目：事前連絡要）						
学生の相談場所	山脇（7階山脇研究室） 笹岡（3階笹岡研究室）						
履修希望学生に求めるもの	日々の実践において、更によりよい実践へと発展できるように課題意識をもつこと、また、文献の活用やクリティークなど、教育への関心を高めておくこと						
キーワード	看護教育学、看護教育課程、看護継続教育、看護教育方法						
科目の目標（到達目標）	1) 看護教育学とは何か、その概念と、看護学教育制度や看護教育課程、看護教育方法・評価について、歴史や社会背景をふまえて探求すると共に課題が検討できる 2) 看護の質を向上するための、看護継続教育の取り組みについて課題が検討できる						
授業計画	1. 看護教育学の概念（看護教育学とは、看護基礎教育と卒後教育） 2. 看護教育制度（看護教育制度並びにカリキュラムの変遷） 3. 看護教育課程（カリキュラム概念、教育目的・目標） 4. 看護教育課程（カリキュラム構成と内容） 5. 看護学教育授業展開1（学習理論、学習レディネス） 6. 看護学教育授業展開2（授業形態、教育方法） 7. 看護学教育授業展開3（指導案の意義と立案の方法） 8. 臨地実習教育と学習（看護学実習の特質と指導、経験型学習理論） 9. 看護学教育評価（教育評価の意義と機能、評価方法） 10. 看護学教育授業展開まとめ（作成した指導案の発表） 11. 看護継続教育論1（生涯学習、成人学習） 12. 看護継続教育論2（FD） 13. 看護継続教育論3（施設内教育プログラム） 14. 看護継続教育論4（施設外教育プログラム） 15. 看護教育方法論（プレゼンテーション）						
成績評価方法	授業における参加姿勢、プレゼン、レポート等を総合的に評価する						
教科書・参考図書	講義において適宜紹介する						
履修上の注意	授業テーマにそって必要な資料・文献を読み、討議ができるように準備をして授業に臨みましょう						

授 業 日 程 表

授業科目：看護教育・管理学特論Ⅰ

講義回数	授業日 (年月日)	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	4月16日	火	6	看護教育学の概念 (看護教育学とは、看護基礎教育と卒後教育)	山脇	成人看護学（7階）の共同研究室・基礎看護学（3階）の共同研究室
2			7	看護教育制度 (看護教育制度並びにカリキュラムの変遷)	山脇	
3	4月23日	火	6	看護教育課程 (カリキュラム概念・教育目的・目標)	山脇	
4			7	看護教育課程（カリキュラム構成と内容）	山脇	
5	5月7日	火	6	看護学教育授業展開1 (学習理論、学習レディネス)	山脇	
6			7	看護学教育授業展開2 (授業形態、教育方法)	山脇	
7	5月14日	火	6	看護学教育授業展開3 (指導案の意義と立案の方法)	笹岡	
8			7	臨地実習教育と学習 (看護学実習の特質と指導、経験型学習理論)	笹岡	
9	5月21日	火	6	看護学教育評価 (教育評価の意義と機能、評価方法)	笹岡	
10			7	看護学教育授業展開まとめ (作成した指導案の発表)	笹岡	
11	5月28日	火	6	看護継続教育論1（生涯学習、成人学習）	笹岡	
12			7	看護継続教育論2（教育FD）	笹岡	
13	6月4日	火	6	看護継続教育論3（施設内教育プログラム）	原田	
14			7	看護継続教育論4（施設外教育プログラム）	原田	
15	6月11日	火	6	まとめ（プレゼンテーション）	山脇	

授業コード	16803	授業科目名	看護教育・管理学特論Ⅱ			単位数	2単位
授業種別	講義	履修開始年次	1年次	開講時期	第1学期	曜日・時限	水・6,7
担当教員	○印は担当責任者 ○森木妙子（基礎看護学講座） (088-880-2558, morikita@kochi-u.ac.jp)						
オフィスアワー	水・木						
学生の相談場所	森木研究室						
履修希望学生に求めるもの	看護管理に関する文献検索						
キーワード	看護管理者、経営と質保証、管理能力						
科目の目標（到達目標）	1. 看護管理の基本となる諸理論および看護管理過程のあり方を探求し、看護管理者に求められる役割と責務について理解し、基本的責務を担うことができる管理能力を習得できる。 2. 人的資源活用論を現場の人材育成に役立て、リーダーシップの育成と看護サービスの質を保証することができる。 3. 管理者としての視野がひろがり、実践現場の課題を探求し、業務改善のスキルを身につける。						
授業計画	1) 看護管理を取り巻く外部環境（コンティンジェンシー理論） 2) 看護管理の概念と要素をつかむ（看護管理過程、看護管理論、組織変革理論） 3) 看護管理者のリーダーシップの発揮と意思決定プロセス 4) 労務管理と看護人事 5) 看護管理実践の場で起こる課題の分析と解決策の導出 6) 看護管理領域における文献の検討 7) 経営を視野に入れた看護管理の改善と工夫について討議						
成績評価方法	クラスへの参加度、討議への貢献度						
参考図書	1. 中西睦子：看護サービス管理 第4版、医学書院、2013. 2. 看護管理学習テキスト（全8巻・別巻）、日本看護協会出版会、2013. 3. 井部俊子：ナースのための管理指標 MaIN2、医学書院、2011. 4. 原玲子：成果の見える病棟目標の立て方、日本看護協会出版会、2012. 5. 尾形裕也：看護管理者のための医療経済学、日本看護協会出版会、2009. 6. 小林亜美他：ナースマネジャーのための問題解決術、医学書院2014. 7. 虎の門病院看護部：看護管理者のコンピテンシー・モデル、医学書院、2013. 8. Stephen P. Robbins 高木晴夫訳：組織行動のマネジメント、ダイヤモンド社、2006. 9. P・ハーシィ 山本成二役：行動科学の展開—人的資源の活用—、生産性出版、2006. 10. Edgar H. Schein 二村敏子訳：キャリア・ダイナミクス、白桃書房、2000. 11. 大島敏子、叶谷由佳：経営貢献UP ケースで学ぶ 看護の質を高めるデータ活用術、メディカ出版、2017 12. ナーシングビジネス編集室：地域包括ケア時代の看看連携実践事例集、メディカ出版、2016 13. 松下博宣：医療看護イノベーション、メディカ出版、2017 14. 斐 英洙、鈴木裕介：看護管理者がリードする3ステップで成果を挙げる！ チームビルディング超入門、メディカ出版、2016 15. 大島敏子：経営に貢献できる「経営感覚」と「看護の心」を両立させる！ 組織づくりとマネジメントの鉄則、メディカ出版、2015						
履修上の注意	授業テーマにそって必要な資料・文献を読み、討議ができるように準備をして授業に臨みましょう						

授 業 日 程 表

授業科目：看護教育・管理学特論Ⅱ

講義回数	授業日 (年月日)	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	4月10日	水	6	看護管理を取り巻く外部環境 (コンティンジェンシー理論)	森木妙子	3 階 基 礎 看 護 学 講 座 共 同 研 究 室
2		水	7	看護管理の概念と要素をつかむ (看護管理サービス過程、看護管理論)		
3	4月17日	水	6	看護管理の概念と要素をつかむ (組織変革理論)		
4		水	7	労務管理と看護人事		
5	4月24日	水	6	看護管理実践の場で起こる課題の分析 (1)		
6		水	7			
7	5月8日	水	6	看護管理者のリーダーシップ		
8		水	7	意思決定プロセス		
9	5月15日	水	6	看護管理領域における文献検索を行い課題解決 策を導く(2)		
10		水	7			
11	5月22日	水	6	課題解決を視野に入れた看護管理の改善と工夫 について提案事項のプレゼンテーション(3)		
12		水	7			
13	5月29日	水	6	経営を視野に入れた看護管理についてグループ 討議(4)		
14		水	7			
15	6月5日	水	6	まとめ		

授業コード	16805	授業科目名	看護教育・管理学演習			単位数	2単位
授業種別	講義	履修開始年次	1年次	開講時期	第2学期	曜日・時限	水・6,7
担当教員	○印は担当責任者 ○森木妙子（基礎看護学講座）088-880-2558. morikita@kochi-u.ac.jp 山脇京子（臨床看護学講座）088-880-2531. y-kyou@kochi-u.ac.jp 下元理恵（基礎看護学講座）（088-880-2532, shimomot@kochi-u.ac.jp） 下田真梨子（基礎看護学講座）（088-880-2552, s-mariko@kochi-u.ac.jp）						
オフィスアワー	山脇・森木（火曜日6限目：事前連絡要）						
学生の相談場所	山脇（7階山脇研究室） 森木（3階森木研究室）						
履修希望学生に求めるもの	日々の実践において、更によりよい実践へと発展できるように、課題意識をもつこと。また、文献の活用や論文クリティークなど、看護教育・管理への関心を高めておくこと。						
キーワード	看護教育 人材育成 看護継続教育 看護管理						
科目の目標（到達目標）	1) 看護教育並びに生涯・継続教育に関する課題について、文献レビュー、議論を通して明らかにする 2) 問題解決型の演習により、自己の研究課題を明確にする 3) 看護管理実践報告を通じて、看護管理に関する視野が広がり、管理の実践力を高められる 4) 看護管理の研究の動向や重要と思われる概念について概観し、看護管理学研究の動向をつかむことができる						
授業計画	1. 看護教育の現状分析と課題の探求（1） 2. 看護教育の現状分析と課題の探求（2） 3. 生涯教育・人材育成の現状分析と課題の探求（1） 4. 生涯教育・人材育成の現状分析と課題の探求（2） 5. 看護継続教育の現状分析と課題の探求（1） 6. 看護継続教育の現状分析と課題の探求（2） 7. 看護管理課題に関する実践報告（1） 8. 看護管理課題に関する実践報告（2） 9. 看護管理領域における経営に関する研究 10. 看護教育・看護管理で重要と思われる主要概念 11. 看護教育に関連した研究の推移 12. 看護管理に関連した研究の推移						
成績評価方法	授業における参加姿勢、プレゼン、レポート等を総合的に評価する						
教科書・参考図書	講義において適宜紹介する						
履修上の注意	授業テーマにそって必要な資料・文献を読み、討議ができるように準備をして授業に臨みましょう						

授 業 日 程 表

授業科目：看護教育・管理学演習

講義回数	授業日 (年月日)	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	10月2日	水	6	看護教育の現状分析と課題の探求	山脇	3階・7階の共同研究室
2			7	"	山脇	
3	10月9日	水	6	生涯教育・人材育成の現状分析と課題の探求	山脇	
4			7	"	山脇	
5	10月16日	水	6	看護継続教育の現状分析と課題の探求	山脇	
6			7	"	山脇	
7	10月23日	水	6	看護管理課題に関する実践報告（1）	森木 下元 下田	
8			7			
9	10月30日	水	6	看護管理課題に関する実践報告（2）		
10			7			
11	11月6日	水	6	看護管理領域における経営に関する研究	森木	
12			7			
13	11月13日	水	6	看護教育・管理で重要と思われる主要概念	山脇 森木	
14			7	看護教育に関連した研究の推移	山脇 森木	
15	11月20日	水	6	看護管理に関連した研究の推移	山脇 森木	

授業コード	16807	授業科目名	保健医療情報学演習			単位数	2単位
授業種別	演習	履修開始年次	1年次	開講時期	第2学期	曜日・時限	木・6,7
担当教員	○印は担当責任者 ○栗原 幸男 (基礎看護学講座) (880-2524, kurihary@kochi-u.ac.jp)						
オフィスアワー	事前に予約をとること。						
学生の相談場所	保健医療情報学教室						
履修希望学生に求めるもの	各自の研究テーマを多角的に検討すること						
キーワード	保健医療情報学、情報表現、モデル化、数量統計手法、テキストマイニング						
科目の目標 (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・保健医療情報の特性を理解する。 ・看護教育・看護管理の研究における対象の情報表現 (モデル化) と分析方法を修得する。 						
授業計画	1回 オリエンテーション 2回 情報学視点からの保健医療研究論 3回 保健医療情報の特性 4回 看護教育・看護管理の研究における対象の情報表現 (モデル化) 5回 同上 6回 看護教育・看護管理における研究対象の情報表現 (モデル化) 演習 ~8回 同上 9回 保健医療情報の分析手法 10回 保健医療情報の分析方法の各自の研究課題への応用演習 ~14回 同上 15回 看護教育・看護管理の研究における対象の情報表現 (モデル化) と分析方法についての総括						
成績評価方法	各自の発表 (40点) と討論への寄与度 (60点) で評価する。						
教科書・参考図書	1. Marion J. Ball, Kathryn J. Hannah and etc. Health Informatics: Nursing Informatics. Springer. 2. 古川俊之監修. 新版医学への統計学. 朝倉書店. 3. Rita D. Zielstorff (編)、西垣 克 (監訳). 看護とコンピュータ. 医歯薬出版. 4. ハーバートAサイモン著、稲葉元吉・吉原英樹訳. システムの科学. パーソナルメディア.						
履修上の注意	毎回の授業参加が成績評価になって行くので、出席に努めること。						

授 業 日 程 表

授業科目：保健医療情報学演習

講義回数	授業日 (年月日)	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	10月3日	木	6	オリエンテーション	栗原幸男	看護学科棟保健指導室（2階）
2	未定*	木	6	情報学視点からの保健医療研究論	同上	
3	同上	木	7	保健医療情報の特性	同上	
4	同上	木	6	看護教育・看護管理の研究における対象の情報表現（モデル化）	同上	
5	同上	木	7	同上	同上	
6	同上	木	6	看護教育・看護管理における研究対象の情報表現（モデル化）演習	同上	
7	同上	木	7	同上	同上	
8	同上	木	6	同上	同上	
9	同上	木	7	保健医療情報の分析手法	同上	
10	同上	木	6	保健医療情報の分析方法の各自の研究課題への応用演習	同上	
11	同上	木	7	同上	同上	
12	同上	木	6	同上	同上	
13	同上	木	7	同上	同上	
14	12月21日	木	6	同上	同上	
15			7	看護教育・看護管理の研究における対象の情報表現（モデル化）と分析方法についての総括	同上	

*：2回目以降の授業日は履修学生と相談する。

授業コード	16809	授業科目名	母子看護学特論 I			単位数	2単位
授業種別	講義	履修開始年次	1年次	開講時期	第1学期	曜日・時限	水・7
担当教員	○印は担当責任者 ○関屋伸子（専門領域：母性看護学・助産学） 088-880-2718, n-sekiya@kochi-u.ac.jp 松本智津（専門領域：小児看護学）						
オフィスアワー	事前連絡を行い教員と日程調整する。						
学生の相談場所	医学部看護学科棟5階 共同研究室						
履修学生に求めるもの	授業は講義とグループワークや発表などを中心とします。従って、主体的かつ能動的な姿勢で授業に臨んでください。						
キーワード	女性および子どもと家族、健康増進に関連する理論、母子を取り巻く社会的変化及び歴史的背景、文化						
科目の目標（到達目標）	1. あらゆる世代の女性および子どもと家族の健康増進のための課題について、母子を取り巻く社会的変化及び歴史的背景、文化などを踏まえて考察する。 2. 母子とその家族の健康増進支援に活用する諸理論を理解し、その課題や解決策を検討する。						
授業計画	1. 母子の健康増進に関する基本的概念 2. 出産・育児に関する歴史と文化 3. 社会的問題に関連する母子の健康課題（児童虐待など） 4. 社会的問題に関連する母子の健康課題（小児在宅医療など） 5. 社会的問題に関連する母子の健康課題（性犯罪など） 6. 各世代の健康増進のための課題と支援（乳幼児期、小児期） 7. 各世代の健康増進のための課題と支援（青年期、性成熟期） 8. 各世代の健康増進のための課題と支援（更年期・老年期） 9-13. 女性及び子どもとその家族への健康増進支援の検討（オリエンテーション、テーマ設定、文献検討、グループワーク） 14-15. 女性及び子どもとその家族への健康増進支援の検討（論文・研究発表、ディスカッション）						
成績評価方法	課題レポート、授業参加態度（グループワーク、ディスカッションを含む）						
教科書・参考図書	適宜、紹介する。						
履修上の注意	・ 欠席する場合は事前に連絡をください。 ・ 日程および担当教員等の詳細は後日提示します。						

授業コード	16811	授業科目名	母子看護学特論Ⅱ			単位数	2単位
授業種別	講義	履修開始年次	1年次	開講時期	第1学期	曜日・時限	木・7
担当教員	○印は担当責任者 ○関屋伸子（専門領域：母性看護学・助産学） 088-880-2718, n-sekiya@kochi-u.ac.jp 松本智津（専門領域：小児看護学） 濱田佳代子（専門領域：母性看護学・助産学） 小松輝子（専門領域：母性看護学・助産学） 吉村澄佳（専門領域：母性看護学・助産学） 川合弘恭（専門領域：小児看護学） 他、非常勤講師						
オフィスアワー	事前連絡を行い教員と日程調整する。						
学生の相談場所	医学部看護学科棟5階 共同研究室						
履修学生に求めるもの	授業は講義とグループワークや発表などを中心とします。従って、主体的かつ能動的な姿勢で授業に臨んでください。						
キーワード	母子の生活におけるQOL、母子の自立・自律や自己決定、セルフケア、母子支援における倫理的配慮						
科目の目標（到達目標）	1. 母子の生活におけるQOLの向上を目指した看護の基礎的検討ができる。 2. 女性と子どもにおける自律・自律や自己決定の概念やプロセスを理解する。 3. 母子に特有な疾患と療養における諸症状や反応を理解し、支援の在り方を考察する。 4. 母子の生活上のセルフケアにおける課題や倫理等について理解を深める。						
授業計画	1. QOLの向上を目指した看護の基礎的検討 2. 母子の生活におけるQuality of Life① （QOLの概念・評価、QOL向上への支援など） 3. 母子の生活におけるQuality of Life② （セルフケア理論、セルフケア行動の促進など） 4. 母子の生活におけるQuality of Life③ （母子の自立・自律など） 5. 女性と子どもの自己決定と法律① （患者の権利と治療行為の関係） 6. 女性と子どもの自己決定と法律② （患者の自己決定を尊重するための説明と義務） 7. 医療を受ける親と子どもへの関わり① （プレパレーションの意味・効果） 8. 医療を受ける親と子どもへの関わり② （プレパレーションの実施・評価） 9. セルフケア行動を促す健康教育① （保健指導の企画、指導案の作成） 10. セルフケア行動を促す健康教育② （教材の作成、保健指導実施の留意点） 11-15. 看護の基礎的検討（英文・邦文文献）：プレゼンテーション						
成績評価方法	課題レポート、授業参加態度（グループワーク、ディスカッションを含む）						
教科書・参考図書	適宜、紹介する。						
履修上の注意	・欠席する場合は事前に連絡をください。 ・日程および担当教員等の詳細は後日提示します。						

授業コード	16813	授業科目名	母子看護学演習			単位数	4単位
授業種別	演習	履修開始年次	1年次	開講時期	通年	曜日・時限	1学期：木6 2学期：水6
担当教員	○印は担当責任者 ○関屋伸子（専門領域：母性看護学・助産学） 088-880-2718, n-sekiya@kochi-u.ac.jp 松本智津（専門領域：小児看護学） 濱田佳代子（専門領域：母性看護学・助産学） 小松輝子（専門領域：母性看護学・助産学） 吉村澄佳（専門領域：母性看護学・助産学） 川合弘恭（専門領域：小児看護学） 植田味佐（エルダープロフェッサー） 他、非常勤講師						
オフィスアワー	事前連絡を行い教員と日程調整する。						
学生の相談場所	医学部看護学科棟5階 共同研究室						
履修学生に求めるもの	授業は講義とグループワークや発表などを中心とします。従って、主体的かつ能動的な姿勢で授業に臨んでください。						
キーワード	母子への看護の課題、研究リテラシー、フィールドワーク						
科目の目標（到達目標）	1. 母子看護学分野の研究のための基礎的な知識や利用能力（文献検索など）を習得する。 2. 母子看護に関連するテーマの研究や課題に関する文献レビューやクリティークをグループワークやディスカッションを通して理解・解釈・分析する。 3. 自らの学習課題を明確にして地域で生活する母子や家族との触れ合いを通して、母子への支援における課題を考察する。						
授業計画	1. 母子看護学分野の研究の基礎（リサーチリテラシー、研究テーマの設定など） 2. 母子看護学分野の研究の基礎（量的研究） 3. 母子看護学分野の研究の基礎（質的研究） 4. フィールドワークの計画立案（トピック検討、文献検索など） 5-6. フィールドワークⅠ（現地調査） 7-10. フィールドワークⅡ（現地調査） 11-14. フィールドワークⅢ（現地調査） 15. フィールドワークの発表、ディスカッション、まとめ 16-30. Current topics in pediatric maternal nursing（英語文献）						
成績評価方法	課題レポート、授業参加態度（グループワーク、ディスカッションを含む）						
教科書・参考図書	適宜、紹介する。						
履修上の注意	・欠席する場合は事前に連絡をください。 ・日程および担当教員等の詳細は後日提示します。 ・学習課題を明確にしたうえで現地調査（学会、研究会を含む）に参加してください。						

授業コード	16851	授業科目名	助産学特論			単位数	1単位
授業種別	講義	履修開始年次	1年次	開講時期	第1学期	曜日・時限	水・2
担当教員	○印は担当責任者 ○関屋伸子（専門領域：母性看護学・助産学） 088-880-2718, n-sekiya@kochi-u.ac.jp						
オフィスアワー	事前連絡を行い教員と日程調整する。						
学生の相談場所	医学部看護学科棟5階 関屋研究室						
履修希望学生に求めるもの	予習・復習をすること。						
キーワード	助産の基本概念、助産師の業務・責務、助産の倫理、助産の歴史、助産師教育						
科目の目標（到達目標）	1. 助産実践の基盤となる概念及び理論を踏まえて周産期の母子と家族の健康増進を促すためのEvidence-Based-Midwifery; EBMの方法論、援助の開発やその効果の検証方法を考察できる。 2. 助産実践の基盤となる概念及び理論を基に助産に関わる現象や対象者の理解を深めるためのアセスメントと助産実践への適応を考察できる。						
授業計画	1. 助産の基本概念、助産師の定義と業務 2. 助産における対象理解とケア 3. 助産実践における倫理 4. リプロダクティブ・ヘルス/ ライツ 5. 母子保健の動向と助産師の役割（日本および世界） 6. お産の歴史と文化 7. 助産師教育 8. 助産学における研究						
成績評価方法	筆記試験、授業参加態度						
教科書・参考図書	教科書 工藤美子（編）：助産師基礎教育テキスト 第1巻 助産概論. 看護協会出版会 参考図書 我部山キヨ子、武谷雄二（編集）：1. 基礎助産学 [1] 助産学概論（第5版）. 医学書院						
履修上の注意	・欠席する場合は事前に連絡をください。 ・日程および担当教員等の詳細は後日提示します。						

授業コード	16852	授業科目名	ウイメンズヘルス論			単位数	1単位
授業種別	講義	履修開始年次	1年次	開講時期	第1学期	曜日・時限	火・3
担当教員	○印は担当責任者 ○濱田佳代子（専門領域：母性看護学・助産学） 088-880-2757, kayoko-h@kochi-u.ac.jp 非常勤講師						
オフィスアワー	午後5時以降、要予約						
学生の相談場所	5階母性看護学・助産学共同研究室及び担当教員研究室						
履修希望学生に求めるもの	主体的学修						
キーワード	女性、ライフサイクル、セクシャルヘルス、性、家族計画、避妊						
科目の目標（到達目標）	1. リプロダクションに関する解剖・生理について理解する。 2. 女性のライフサイクル各期に起る主な疾患について学ぶ。 3. リプロダクション領域に関わりの深い泌尿生殖器・内分泌系の病態を理解し、対象の健康問題の看護の特性について理解する。 4. 女性とその家族の健康支援に関する特性・現象を理解する。 5. セクシャルヘルスとリスクの回避行動の原理と方法を学び、援助の在り方を理解する。						
授業計画	1. リプロダクションに関する解剖・生理，人間の性行動と性の多様性 2. 女性のライフサイクルと健康 3. 女性のライフステージにおける生理的变化と異常 4. 女性生殖内分泌系の異常 5. 家族計画の概要（意義と目的，関連概念，法規，人工妊娠中絶） 6. 受胎調節の原理と方法①（周期的禁欲法，バリア法，性交中絶法） 7. 受胎調節の原理と方法②（子宮内避妊具，経口避妊薬，緊急避妊） 8～15. 受胎調節の指導①～⑧（個別指導，集団指導）						
成績評価方法	筆記試験、授業参加態度						
教科書・参考図書	助産学講座2・3・4・5・9 医学書院 助産師基礎教育テキスト2・6 日本看護協会出版会 木村好秀ほか：家族計画指導の実際 医学書院 新・受胎調節指導用テキスト 日本家族計画協会 助産師業務要覧（基礎編・実践編） 日本看護協会出版会 服部 祥子：生涯人間発達論 医学書院 岡本 祐子：女性の生涯発達とアイデンティティ ミネルヴァ書房						
履修上の注意	医学部講義（実習棟3階第1講義室） プレゼンテーション（母性看護学・助産学実習室）						

授業コード	16861	授業科目名	助産診断・技術学基礎			単位数	1単位
授業種別	講義	履修開始年次	1年次	開講時期	第1学期	曜日・時限	木・4
担当教員	○印は担当責任者 ○濱田佳代子（専門領域：母性看護学・助産学） 088-880-2757, kayoko-h@kochi-u.ac.jp 松本智津（専門領域：母子看護学） 非常勤講師						
オフィスアワー	午後5時以降，要予約						
学生の相談場所	5階母性看護学・助産学共同研究室及び担当教員研究室						
履修希望学生に求めるもの	主体的学修						
キーワード	妊娠、分娩、産褥、新生児、乳児、生理的経過						
科目の目標（到達目標）	妊娠・分娩・産褥，新生児，乳児の生理的経過を理解する。						
授業計画	1. 正常妊娠・分娩・産褥 2. 妊娠の成立と胎児の発育・生理，胎盤・卵膜の形態機能 3. 妊娠による母体の変化 4. 妊娠期の心理社会的変化 5. 分娩の3要素 6. 正常分娩の機転 7. 新生児の生理 8. 乳児の成長と発達						
成績評価方法	筆記試験、授業参加態度						
教科書・参考図書	助産学講座2・6・7・8 医学書院 助産師基礎教育テキスト4・5・6 日本看護協会出版会 荒木 勤：最新産科学（正常編）文光堂 坂元 正一ほか：プリンシプル産科婦人科学第2版 メジカルビュー社 病気が見えるVol.10産科改訂第3版 メディックメディア						
履修上の注意	医学部講義（実習棟3階第1講義室）						

授業コード	16862	授業科目名	助産診断・技術学特論 I			単位数	1単位
授業種別	講義	履修開始年次	1年次	開講時期	第1学期	曜日・時限	金・3
担当教員	○印は担当責任者 ○濱田佳代子（専門領域：母性看護学・助産学） 088-880-2757, kayoko-h@kochi-u. ac. jp 溝渕俊二（専門領域：臨床看護学）088-880-2564, mizoshun@kochi-u. ac. jp 非常勤講師						
オフィスアワー	午後5時以降，要予約						
学生の相談場所	5階母性看護学・助産学共同研究室及び担当教員研究室						
履修希望学生に求めるもの	主体的学修						
キーワード	周産期、感染、免疫、遺伝、検査、薬剤、栄養、歯科保健						
科目の目標（到達目標）	1. 周産期の母子の健康と発達の診断及び異常との鑑別を行うために必要な解剖・生理学，病態生理を学ぶ。 2. 周産期の母子の健康に関わる遺伝と免疫について学ぶ。 3. 周産期の母子の健康に関わる臨床検査・薬理について学ぶ。 4. 周産期の母子の健康に関わる栄養について学ぶ。						
授業計画	1. 母子と感染（母子感染のしくみ，母子感染症，予防接種） 2. 母子と免疫（免疫のしくみ，周産期の免疫学的特性） 3. 遺伝と遺伝性疾患①（遺伝のしくみ，遺伝性疾患の分類） 4. 遺伝と遺伝性疾患②（出生前診断），生殖補助医療（現状と課題，実際） 5. 産科における検査（出生前検査） 6. 母子と薬剤（妊娠・分娩・産褥と薬剤） 7. 母子と栄養（妊産婦，乳幼児，思春期） 8. 母子の歯科保健						
成績評価方法	筆記試験、授業参加態度						
教科書・参考図書	助産学講座2・3・6・7 医学書院 助産師基礎教育テキスト4 日本看護協会出版会 荒木 勤：最新産科学（正常編）文光堂 坂元 正一ほか：プリンシプル産科婦人科学第2版 メジカルビュー社 病気が見えるVol.10産科改訂第3版 メディックメディア						
履修上の注意	医学部講義（実習棟3階第1講義室）						

授業コード	16863	授業科目名	助産診断・技術学特論Ⅱ			単位数	1単位
授業種別	講義	履修開始年次	1年次	開講時期	第1学期	曜日・時限	月・2
担当教員	○印は担当責任者 ○小松輝子（専門領域：母性看護学・助産学） 088-880-2228, teruko-komatsu@kochi-u.ac.jp 濱田佳代子（専門領域：母性看護学・助産学） 088-880-2757, kayoko-h@kochi-u.ac.jp						
オフィスアワー	午後5時以降，要予約						
学生の相談場所	5階母性共同研究室及び担当教員研究室						
履修希望学生に求めるもの	能動的に学ぶ姿勢						
キーワード	分娩 産婦 新生児 褥婦 ケア						
科目の目標（到達目標）	1. 分娩介助技術の原理と方法を理解する。 2. 産婦および 出生直後の新生児のケアを展開できる能力を養う。 3. 褥婦の特性を理解しケアを展開できる能力を養う。 4. 助産診断過程を展開できる能力を養う。						
授業計画	1. 分娩介助の原理と方法①（分娩経過の診断） 2. 分娩介助の原理と方法②（分娩介助の意義と原理） 3. 分娩介助の原理と方法③（分娩介助技術） 4. 分娩介助の原理と方法④（産婦の状況に応じた介助法） 5. 分娩介助の原理と方法⑤（出生直後の新生児のアセスメントとケア） 6. 産褥管理・支援の方法①（退行性変化） 7. 産褥管理・支援の方法②（進行性変化：授乳に関する解剖と機能、母乳育児支援） 8. 助産過程の展開（助産過程とは） 9～13. 助産診断展開 事例の検討（妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期） 14, 15. 助産診断展開 発表・ディスカッション						
成績評価方法	授業への参加姿勢20%、課題発表内容30%、筆記試験50%						
教科書・参考図書	助産学講座3・7・8 医学書院 助産師基礎教育テキスト5・6 日本看護協会出版会 平澤美恵子他：写真でわかる助産技術アドバンス インターメディカ 実践マタニティ診断第4版 日本看護診断・実践研究会 医学書院 仁志田 博司：新生児学入門第3版 医学書院 【参考書・参考文献】 プリンシプル産科婦人科学 第2版 病気が見えるVol.10産科 改訂第3版 荒木 勤：最新産科学（正常編） 文光堂 立岡弓子：周産期ケアマニュアル サイオ出版						
履修上の注意	事前学習を行い授業に臨みましょう						

授業コード	16864	授業科目名	助産診断・技術学演習			単位数	3単位
授業種別	演習	履修開始年次	1年次	開講時期	第1学期	曜日・時限	月・3,4 火・2
担当教員	○印は担当責任者 ○濱田佳代子（専門領域：母性看護学・助産学） 088-880-2757, kayoko-h@kochi-u. ac. jp 小松輝子（専門領域：母性看護学・助産学） 088-880-2228, teruko-komatsu@kochi-u. ac. jp 松本智津（専門領域：母性看護学・助産学）						
オフィスアワー	午後5時以降, 要予約						
学生の相談場所	5階母性看護学・助産学実習室及び6階実践助産講義室 1						
履修希望学生に求めるもの	主体的学修						
キーワード	妊婦診察、異常への対応、乳房管理、補完代替療法、助産ケア、分娩介助						
科目の目標（到達目標）	1. 周産期の母子の健康状態と成長・発達を診断し、異常との識別ができる能力を養う。 2. 妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の正常経過を促進し女性の意思を尊重した支援ができる能力を養う。 3. EBMの方法論に基きケアを展開できる能力を養う。 4. 分娩経過に応じて母子の安全・安楽なケアを提供できる能力を養う。 5. 母子相互作用を高め、親役割を推進できるケアを提供できる能力を養う。 6. 妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の異常発生時の対応ができる能力を養う。（新生児蘇生、会陰縫合術及び超音波診断） 7. 地域助産学実習より地域母子の実態を探り【助産道場】につなげる。						
授業計画	1・2. 妊婦診察技法 （問診・臨床検査と臨床的診断推論, 超音波画像診断） 3・4. 妊娠診察技法（胎児心拍数モニタリング） 5・6. 妊婦健康診査演習（外診法：腹部・下肢, 乳房, NST） 7. 妊婦健康診査演習（骨盤外計測） 8. 分娩時の異常への対応演習 （鉗子・吸引分娩, 肩甲難産の娩出技術） 9. 分娩時の異常への対応演習（産科的危機的出血への対応） 10・11. 分娩時の異常への対応演習（会陰切開術） 12・13. 乳房管理（乳房管理の実際, 乳房疾患の見分け方） 14・15. 周産期における補完代替療法（産痛緩和, 東洋医学） 16・17. 新生児の観察・沐浴演習 18～20. 妊娠期のケア （日常生活・親になる準備へのケア, 心理社会的ケア） 21～23. 分娩期のケア（産婦支援の基本, 分娩経過に沿ったケア） 24～26. 産褥期のケア（退行性変化の促進, 心理社会的側面への支援） 27～29. 新生児期のケア （生後24時間以内, 早期新生児期, 家庭生活への移行） 30～32. 乳幼児期のケア（乳幼児健康診査, 乳幼児の健康増進と疾病予防） 33～39. 分娩介助演習 40・41. 分娩介助技術試験 42～45. 新生児蘇生法(NCPR) 公認講習会参加						
成績評価方法	演習評価、筆記試験、授業参加態度						

<p>教科書・参考図書</p>	<p>助産学講座 2・6・7・8 医学書院 助産師基礎教育テキスト4・5・6・7 日本看護協会出版会 仁志田 博司：新生児学入門第3版 医学書院 田村 正徳：新生児蘇生法テキスト メジカルビュー社 荒木 勤：最新産科学（正常編） 文光堂 坂元 正一ほか：プリンシプル産科婦人科学第2版 メジカルビュー社 岩田 塔子：体位別フリースタイル分娩介助法 メディカ出版 我部山 キヨ子ほか：助産師のためのフィジカルイグザミネーション 医学書院 進 純郎：分娩介助学 医学書院 藤森 敬也：胎児心拍数モニタリング講座改訂第3版 メディカ出版 母乳育児支援ガイド 医学書院 母乳育児支援スタンダード 医学書院</p>
<p>履修上の注意</p>	<p>事前学修を十分行うこと</p>

授業コード	16865	授業科目名	周産期ハイリスク論			単位数	1単位
授業種別	講義	履修開始年次	1年次	開講時期	第1学期	曜日・時限	木・3
担当教員	○印は担当責任者 ○関屋伸子（専門領域：母性看護学・助産学） 088-880-2718, n-sekiya@kochi-u.ac.jp 非常勤講師						
オフィスアワー	事前連絡を行い教員と日程調整する。						
学生の相談場所	医学部看護学科棟5階 関屋研究室						
履修希望学生に求めるもの	予習・復習をすること。						
キーワード	ハイリスク妊娠・分娩、合併症妊娠、産科合併症、産科救急、新生児の異常						
科目の目標（到達目標）	1. 妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の主な異常について病態生理・症状・治療・予後を理解する。 2. 周産期における異常発生時の対応（新生児蘇生，会陰裂傷縫合，超音波診断，XP判読等を含む）及びハイリスク母子のアセスメントとケアを展開できる基礎的な知識を習得する。 3. 【周産期医療人育成プログラム】の概要を知り、周産期における助産師の役割を考察する。						
授業計画	1. 妊娠期の異常①（妊娠初期の異常、流早産、前期破水） 2. 妊娠期の異常②（DHP、胎盤・羊水の異常、多胎妊娠） 3. 合併症妊娠・産科救急（出血・DIH） 4. 分娩・産褥の異常と産科手術 5. 性感染症、女性生殖器炎症性疾患・性器脱 6. 周産期における緊急時の対応（肩甲難産、会陰縫合術、産科的ショックほか） 7. 新生児の異常と管理（新生児仮死，呼吸器疾患，循環器疾患，高ビリルビン血症など） 8. 総合・地域周産期母子医療センターにおける集中的で高度な助産ケアの実際						
成績評価方法	筆記試験、授業参加態度						
教科書・参考図書	参考図書 プリンシプル産科婦人科学 1 婦人科編：メジカルビュー社 プリンシプル産科婦人科学 2 産科編：メジカルビュー社 標準産科婦人科：医学書院 最新産科学 正常編改訂第22版：文光堂 最新産科学 異常編改訂第22版：文光堂 ≪助産学講座 6≫ 助産診断・技術学Ⅱ [1]妊娠期：医学書院 ≪助産学講座 7≫ 助産診断・技術学Ⅱ [2]分娩期・産褥期：医学書院 ≪助産学講座 8≫ 助産診断・技術学Ⅱ [3]新生児期・乳幼児期：医学書院						
履修上の注意	・欠席する場合は事前に連絡をください。 ・日程および担当教員等の詳細は後日提示します。						

授業コード	16866	授業科目名	周産期医療システム論			単位数	1単位
授業種別	講義	履修開始年次	1年次	開講時期	第1学期	曜日・時限	木・3
担当教員	○印は担当責任者 ○濱田佳代子（専門領域：母性看護学・助産学） 088-880-2757, kayoko-h@kochi-u.ac.jp 栗原幸男（専門領域：保健・医療情報学） 088-880-2228, kurihary@kochi-u.ac.jp 奥谷文乃（専門領域：産業保健学） 088-880-2559, okutanif@kochi-u.ac.jp 奥原義保（医学情報センター） 非常勤講師						
オフィスアワー	午後5時以降、要予約						
学生の相談場所	医学部看護学科棟6階 実践助産 1						
履修希望学生に求めるもの	主体的学修						
キーワード	システム、周産期医療、母子保健、継続看護						
科目の目標（到達目標）	1. 地域母子保健のしくみを理解する。 2. 周産期医療に関わる制度・政策の基礎的知識を習得し、周産期の母子の安全確保に向けた情報ネットワーク構築に参画するための基本的能力を養う。 3. 周産期医療を中心とした母子保健に関する助産師の役割について学ぶ。 4. シームレス医療を追求し助産師の役割を明確にし助産道場につなげる。						
授業計画	1. システムの概念、周産期システムの概要 2. 高知県の周産期医療制度の現状と課題①（母親への支援） 3. 高知県の周産期医療制度の現状と課題②（児への支援） 4. 国際化時代の地域母子保健システムの在り方 5. 母子保健の動向と諸制度（関連法規） 6. 周産期医療の体制（周産期管理システム、NICU、周産期搬送システム、オープンシステム） 7. 情報ネットワークの構築（母子保健・周産期医療） 8. 地域周産期医療センターにおける継続看護の実際と課題						
成績評価方法	授業参加態度、レポート						
教科書・参考図書	助産学講座1・9・10 医学書院 助産師基礎教育テキスト1・3 日本看護協会出版会 母子の主なる統計2018 母子保健事業団 わが国の母子保健 平成31年 母子保健研究会 助産師業務用覧（基礎編・実践編）日本看護協会出版会 我部山 キヨ子：臨床助産師必携－生命と文化をふまえた支援－ 医学書院						
履修上の注意	授業テーマにそって文献学修を行うこと						

授業コード	16867	授業科目名	母子精神病理学			単位数	1単位
授業種別	講義	履修開始年次	1年次	開講時期	第1学期	曜日・時限	月・1
担当教員	○印は担当責任者 ○小松輝子（専門領域：母性看護学・助産学） 088-880-2228, teruko-komatsu@kochi-u.ac.jp 非常勤講師						
オフィスアワー							
学生の相談場所	5階母性共同研究室及び担当教員						
履修希望学生に求めるもの	能動的に学ぶ姿勢						
キーワード	親子関係 不妊症 不育症 周産期 うつ病 精神疾患						
科目の目標（到達目標）	1. 女性のライフサイクルにおけるメンタルヘルスについての知識を習得する。 2. 親子関係に関する精神病理の知識を習得し、親子の心の問題に対するアセスメントとケアを学ぶ。						
授業計画	1. 女性のライフサイクルとメンタルヘルス（摂食障害、パニック障害、PMS、DV等） 2. 産前・産後の精神疾患（産前・産後のうつ病、産褥精神病、精神疾患合併妊娠等） 3. 親子関係をめぐる問題①（母子・父子関係） 4. 親子関係をめぐる問題②（児童虐待） 5. 親子関係をめぐる問題③（対応策について） 6. 出生前診断の意思決定支援①（不妊症・不育症治療における心理的問題） GW含む 7. 出生前診断の意思決定支援②（家族を含めた支援と他機関との連携） GW・プレゼンテーション含む 8. ペリネイタルロスとグリーフケア（流産・死産の悲嘆反応、子供の喪失を含む）						
成績評価方法	プレゼンテーション20%・筆記試験80%						
教科書・参考図書	助産学講座4・6・7 医学書院 助産師基礎教育テキスト4・5・6 日本看護協会出版会 新道 幸恵他：母性の心理社会的側面と看護ケア 医学書院						
履修上の注意	事前学習を行い授業に臨みましょう						

授業コード	16868	授業科目名	コンサルテーション論			単位数	1単位
授業種別	講義	履修開始年次	1年次	開講時期	第1学期	曜日・時限	水・3
担当教員	○印は担当責任者 ○関屋伸子（専門領域：母性看護学・助産学） 088-880-2718, n-sekiya@kochi-u.ac.jp 高橋美美（専門領域：母性看護学・助産学） 非常勤講師						
オフィスアワー	事前連絡を行い教員と日程調整する。						
学生の相談場所	医学部看護学科棟5階 関屋研究室						
履修希望学生に求めるもの	予習・復習をすること。						
キーワード	カウンセリング コーチング 健康教育						
科目の目標（到達目標）	女性及び母子と家族の健康問題の解決や健康課題の達成に向けた相談・教育を行うために必要なカウンセリングおよびコーチングの基礎的な方法論を理解する。						
授業計画	1. コンサルテーションの概念 2. コミュニケーションの基礎と技法 3. カウンセリングの理論と応用 4. カウンセリングの技術 5. コーチングの概要とアプローチ 6-8. カウンセリングとコーチングの実際						
成績評価方法	筆記試験、授業参加態度						
教科書・参考図書	適宜、紹介する。						
履修上の注意	・欠席する場合は事前に連絡をください。 ・日程および担当教員等の詳細は後日提示します。						

授業コード	16869	授業科目名	助産学実習 I			単位数	2単位
授業種別	実習	履修開始年次	1年次	開講時期	第2学期	曜日・時限	集中
担当教員	○印は担当責任者 ○濱田佳代子（専門領域：母性看護学・助産学） 088-880-2757, kayoko-h@kochi-u.ac.jp 小松輝子（専門領域：母性看護学・助産学） 088-880-2228, teruko-komatsu@kochi-u.ac.jp 吉村澄佳（専門領域：母性看護学・助産学） 088-880-2537, yoshimuras@kochi-u.ac.jp 関屋伸子（専門領域：母性看護学・助産学） 088-880-2718, n-sekiya@kochi-u.ac.jp						
オフィスアワー	事前連絡を行い教員と日程調整する。						
学生の相談場所	医学部看護学科棟5階 共同研究室						
履修学生に求めるもの	主体的学修						
キーワード	分娩見学、助産診断、助産ケア、分娩介助						
科目の目標（到達目標）	1. 分娩見学を行い、助産師の役割や責任を理解する。 2. 施設内分娩の現状を知り、メリットや制約を理解する。 3. 助産診断に基づき、産褥・新生児の診断、助産ケアの立案・展開が出来る。 4. 正常分娩の介助を行い、妊娠・分娩・産褥、新生児のケアを連続したプロセスとして展開できる。						
授業計画	1. 実習場所と実習期間 ①実習場所：高知大学医学部附属病院及び高知医療センター ②実習期間：2週間（補習期間：分娩介助2例程度到達まで） 2. 実習方法 ①分娩見学終了後、正常経過事例（1～2例）に対して、分娩介助及び分娩第1期から分娩終了後2時間までのケアを行う。 ②分娩介助事例を受持ち、産褥・新生児の診断、ケア計画立案・展開を行う。 ③産科外来・助産外来において、許可の得られた妊婦を対象に受診から終了まで関わり、問診、計測診、及び助産師による保健指導の見学を行う。 ④対象妊婦の情報を収集し、助産診断及びケア計画の立案を行う。						
成績評価方法	実習評価表、実習記録物、実習態度						
教科書・参考図書	適宜、紹介する。						
履修上の注意	・健康管理に十分に留意し、やむを得ない場合を除き原則として欠席はしないように心がけてください。 ・各施設毎の実習の手引きは後日提示します。						

授業コード	16870	授業科目名	助産学実習Ⅱ			単位数	7単位
授業種別	実習	履修開始年次	1・2年次	開講時期	通年	曜日・時限	集中
担当教員	○印は担当責任者 ○小松輝子（専門領域：母性看護学・助産学） 088-880-2228, teruko-komatsu@kochi-u.ac.jp 濱田佳代子（専門領域：母性看護学・助産学） 088-880-2757, kayoko-h@kochi-u.ac.jp 吉村澄佳（専門領域：母性看護学・助産学） 088-880-2537, yoshimuras@kochi-u.ac.jp 関屋伸子（専門領域：母性看護学・助産学） 088-880-2718, n-sekiya@kochi-u.ac.jp						
オフィスアワー	事前連絡を行い教員と日程調整する。						
学生の相談場所	医学部看護学科棟5階 共同研究室						
履修学生に求めるもの	主体的学修						
キーワード	分娩見学、助産診断、助産ケア、分娩介助						
科目の目標（到達目標）	1. 周産期の母子と家族に対する助産過程の展開を通して、助産実践に必要な知識・技術・態度を習得する。 2. 妊娠期から育児期までの継続的な助産過程の展開を通して、個別性と継続性のある健康支援を行う能力を養う。 3. ハイリスク妊産褥婦・新生児事例に対し助産過程の展開を通して、異常の早期発見や緊急時の対応に必要な能力を養う。						
授業計画	1. 実習場所と実習期間 ①実習場所：高知大学医学部附属病院・高知赤十字病院・国立高知病院・助産所 ②実習期間：7週間（補習期間：分娩介助10例程度到達まで） 2. 実習方法 ①正常経過事例（3～10例）に対して、分娩介助及び分娩第1期から分娩終了後2時間までの助産過程の展開（情報収集・アセスメント・診断・ケア計画立案・実施）を行う。 ②分娩介助事例を受け持ち、産褥・新生児の助産過程の展開（情報収集・アセスメント・診断・ケア計画立案・実施）を行う。 ③産科外来・助産外来において、対象妊婦の助産診断過程の展開（情報収集・アセスメント・診断・ケア計画立案・実施）を行う。 ④継続事例（妊娠期から・分娩期から）を2例受け持ち、妊娠・分娩・産褥・育児期の母子及び家族の継続した支援を行う。 ⑤ハイリスク妊産褥婦を受け持ち、助産診断過程の展開（情報収集・アセスメント・診断・ケア計画立案・実施）を行う。						
成績評価方法	実習評価表、実習記録物、実習態度						
教科書・参考図書	適宜、紹介する。						
履修上の注意	・健康管理に十分に留意し、やむを得ない場合を除き原則として欠席はしないように心がけてください。 ・各施設毎の実習の手引きは後日提示します。						

授業コード	16871	授業科目名	地域助産学実習			単位数	4単位
授業種別	実習	履修開始年次	1・2年次	開講時期	通年	曜日・時限	集中
担当教員	○印は担当責任者 ○関屋伸子（専門領域：母性看護学・助産学） 088-880-2718, n-sekiya@kochi-u.ac.jp 濱田佳代子（専門領域：母性看護学・助産学） 088-880-2757, kayoko-h@kochi-u.ac.jp 小松輝子（専門領域：母性看護学・助産学） 088-880-2228, teruko-komatsu@kochi-u.ac.jp 吉村澄佳（専門領域：母性看護学・助産学） 088-880-2537, yoshimuras@kochi-u.ac.jp						
オフィスアワー	事前連絡を行い教員と日程調整する。						
学生の相談場所	医学部看護学科棟5階 共同研究室						
履修学生に求めるもの	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず事前学習および復習をしてください。 ・主体的に学習に取り組みましょう。 						
キーワード	母子保健事業、地域医療連携、助産業務と経営管理、地域における助産師の役割、						
科目の目標（到達目標）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地方自治体における地域母子保健事業の実際を学び、その課題を考察する。 2. 親子関係・家族関係の社会的問題を理解し、ライフサイクルに応じた支援とその課題を考察する。 3. 助産所および病院・診療所において正常経過である妊産褥婦を受け持ち、指導の下に妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期のケアを行う。施設における助産業務管理および経営管理を理解し開業権を活かした将来の助産師の働き方を考察する。 4. 施設と関連諸機関との連携を理解し地域母子保健システムにおける助産師の役割を総合的に理解する。 5. 思春期の対象へ生命と性、自己の将来の生き方に関する保健指導の企画・運営・実施、評価を実施する。また、対象の発達段階や地域の特性に応じた健康教育の必要性を学ぶ。 						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習方法 <ol style="list-style-type: none"> 1) 保健所：地域における母子保健事業（母親学級、乳児検診、新生児訪問など）を見学により学ぶ。 2) 乳児院：児童養護の支援を見学により理解する。 3) 助産所および病院・診療所：正常経過である産褥婦を受け持ち、指導の下に分娩介助を実施する。助産業務管理および経営管理を理解し、開業権を活かした将来の助産師の働き方を考察する。助産及び産科施設と関連諸機関との連携を理解し、地域母子保健システムにおける助産師の役割を総合的に理解する。 4) 助産道場：指導の下に思春期にある対象への保健指導を実施する。 2. 実習時期と実習場所 <ol style="list-style-type: none"> 1) 1年次：保健所、乳児院 2) 2年次：助産所、病院・診療所、老健施設、助産道場 合計4週間 						
成績評価方法	実習評価表、実習記録物、授業参加態度						
教科書・参考図書	適宜、紹介する。						
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・健康管理を十分に留意し、やむを得ない場合を除き原則として欠席はしないように心がけてください。 ・各施設毎の実習の手引きは後日提示します。 						

授業コード	16881	授業科目名	地域母子保健診断学			単位数	1単位
授業種別	講義	履修開始年次	1年次	開講時期	第1学期	曜日・時限	火・4
担当教員	○印は担当責任者 ○関屋伸子（専門領域：母性看護学・助産学） 088-880-2718, n-sekiya@kochi-u.ac.jp 非常勤講師						
オフィスアワー	事前連絡を行い教員と日程調整する。						
学生の相談場所	医学部看護学科棟5階 関屋研究室						
履修希望学生に求めるもの	予習・復習をすること。						
キーワード	地域医療 周産期医療体制 母子保健活動 助産師の役割						
科目の目標（到達目標）	1. 地域社会で生活する母子と家族の健康を支援するために必要な知識・技術を習得する。 2. 他の職種や組織との連携及びセルフヘルプグループへの支援について理解する。 3. 体外環境要因として汚染物質についてその作用と母子の健康に及ぼす影響について考察する。 4. 国際化時代の地域母子保健について考察する。						
授業計画	1. 母子保健制度の概要 2. 主な母子保健施策（日本および高知県の現状と課題） 3. 母子保健活動を展開する場と特徴①（地方自治体、産後ケア施設など） 4. 母子保健活動を展開する場と特徴②（病院・診療所） 5-6. 地域子育て支援活動、地域相談活動、災害時の地域母子保健活動 7. 環境中の化学物質による母子の健康への影響（エコチル調査から） 8. 国際母子保健の実際（諸外国の母子保健活動など）						
成績評価方法	筆記試験、授業参加態度						
教科書・参考図書	教科書 我部山 キヨ子（編集）：〈助産学講座 9〉地域母子保健・国際母子保健. 医学書院 国民衛生の動向 参考図書 助産師業務用覧（基礎編・実践編） 日本看護協会出版会 母子の主なる統計2013 母子保健事業団 わが国の母子保健 平成26年 母子保健研究会 助産外来・院内助産所 計画・開設・運営マニュアル 臨床助産師必携—生命と文化をふまえた支援—						
履修上の注意	・欠席する場合は事前に連絡をください。 ・日程および担当教員等の詳細は後日提示します。						

授業コード	16882	授業科目名	助産管理学			単位数	2単位
授業種別	講義	履修開始年次	1年次	開講時期	第1学期	曜日・時限	金・2
担当教員	○印は担当責任者 ○関屋伸子（専門領域：母性看護学・助産学） 088-880-2718, n-sekiya@kochi-u.ac.jp 非常勤講師						
オフィスアワー	事前連絡を行い教員と日程調整する。						
学生の相談場所	医学部看護学科棟5階 関屋研究室						
履修希望学生に求めるもの	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に取り組むこと。 ・予習・復習をすること。 						
キーワード	助産管理 法的責任 医療事故・災害						
科目の目標（到達目標）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 助産業務管理，リーダーシップ，マネジメント，コーディネーション等の原理と方法を理解する。 2. evidenceに基づく女性の意志を尊重した支援の在り方を追求する。 3. 助産実践の場における助産管理の場の特性に応じた管理や，多職種の協働及び保健・医療・福祉等の関連機関の連携に必要な調整を体験を通して考察する。 4. プロポーザルの知識を高め，組織改革，政策提案を検討する。 5. 周産期に関する法的責任を学び，自立した専門職としての役割を考察する 						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 助産管理の管理の基本概念とプロセス 2. 関連法規と助産師の義務・責任 3-4. 病産院における助産業務管理の実際 5-6. 出産における安全管理 7-8. 助産と医療経済 9-10. 助産所における管理 11-12. 院内助産院の管理 13. 助産管理の課題と展望の検討（テーマ設定、文献検討） 14. 助産管理の課題と展望の検討（グループワーク、資料作成） 15. 助産管理の課題と展望の検討（発表、プレゼンテーション） 						
成績評価方法	筆記試験、授業参加態度						
教科書・参考図書	教科書 成田伸（責任編集）：助産師基礎教育テキスト 2019年版 周産期における医療の質と安全。看護協会出版会 我部山 喜代子／毛利 妙子（編集）：《助産学講座 10》助産管理。医学書院 参考図書 助産師業務要覧（基礎編・実践編）日本看護協会出版会 臨床助産師必携－生命と文化をふまえた支援－						
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席する場合は事前に連絡をください。 ・日程および担当教員等の詳細は後日提示します。 						

授業コード	16815	授業科目名	成人・老人看護学特論 I			単位数	2単位
授業種別	講義	履修開始年次	1年次	開講時期	第1学期	曜日・時限	金・6,7
担当教員	○印は担当責任者 ○佐藤 美樹 (臨床看護学講座) (880-25551, m-sato@kochi-u.ac.jp) 山脇 京子 (臨床看護学講座) (880-2531, y-kyou@kochi-u.ac.jp) 溝渕 俊二 (臨床看護学講座) (880-2564, mizoshun@kochi-u.ac.jp) 高橋 美美 (臨床看護学講座) (880-2562, takam@kochi-u.ac.jp) 竹村 多加 (臨床看護学講座) (880-2519, takemt@kochi-u.ac.jp) 林 昌子 (地域看護学講座) (880-2562, m-hayashi@kochi-u.ac.jp) 寺下 憲一郎 (臨床看護学講座) (880-2436, k-terashita@kochi-u.ac.jp)						
オフィスアワー	事前連絡により対応						
学生の相談場所	7階共同研究室および担当教員の研究室						
履修希望学生に求めるもの	主体的学習						
キーワード	クリティカルケア・フィジカルアセスメント						
科目の目標 (到達目標)	1. 急性臓器障害や侵襲的治療によって急激な健康破綻をきたした人の特徴を理解し、患者や家族がもつ看護問題および倫理問題を考える。 2. 急激な健康破綻をきたした人の健康アセスメントの手法を学び、エビデンスに基づいた看護実践の基盤を修得する。 3. 急激な健康破綻をきたした人の生命の維持、生理機能の回復、日常性の回復に向け、QOL向上を念頭においた看護を学ぶ。						
授業計画	1. クリティカルケア看護概論 2. クリティカルな場における看護理論 3. クリティカルな患者の病態と特徴 4. クリティカルな患者の病態と特徴 5. クリティカルな場における看護理論 6. フィジカルアセスメント 7. フィジカルアセスメント 8. フィジカルアセスメント 9. クリティカルケアにおける看護倫理 10. クリティカルケアにおける精神的支援 11. 高齢者のクリティカルケア 12. 高齢者のクリティカルケア 13. 事例検討 14. 事例検討 15. まとめ						
成績評価方法	授業への参加度・プレゼンテーション・レポートから総合的に評価する						
教科書・参考図書	1. デブラ・J・リン・マッカーレ・ヴィガン/キャレン・K・カールソン編 卯野木健監訳：AACN (米国クリティカルケア看護師協会) クリティカルケア看護マニュアル原著第5版、エンゼビア・ジャパン、2007 2. 山勢博彰：クリティカルケア アドバンス看護実践、南江堂、2013 3. 池松裕子：クリティカルケア看護論、ヌーヴェルヒロカワ、2009 4. 寺町優子他：クリティカルケア看護 理論と臨床への応用、日本看護協会出版会、2010						
履修上の注意	学習効果を高めるために自己学習を行って授業に臨みましょう。						

授 業 日 程 表

授業科目：成人・老人看護学特論Ⅰ

講義回数	授業日 (年月日)	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	6月14日	金	6	クリティカルケア看護概論	山脇 京子	成人看護学講座成人看護学共同研究室（7階）
2			7	クリティカルな場における看護理論（講義）	佐藤 美樹	
3	6月21日	金	6	クリティカルな患者の病態と特徴	溝渕 俊二	
4			7	クリティカルな患者の病態と特徴	溝渕 俊二	
5	6月28日	金	6	クリティカルな場における看護理論（演習）	佐藤 美樹	
6			7	フィジカルアセスメント	寺下 憲一郎	
7	7月5日	金	6	フィジカルアセスメント	寺下 憲一郎	
8			7	フィジカルアセスメント	寺下 憲一郎	
9	7月12日	金	6	クリティカルケアにおける看護倫理	竹村 多加	
10			7	クリティカルケアにおける精神的支援	高橋 美美	
11	7月19日	金	6	高齢者のクリティカルケア	林 昌子	
12			7	高齢者のクリティカルケア	林 昌子	
13	7月26日	金	6	事例検討	竹村 多加	
14			7	事例検討	林 昌子	
15	8月2日	金	6	まとめ	佐藤 美樹	

授業コード	16817	授業科目名	成人・老人看護学特論Ⅱ			単位数	2単位
授業種別	講義	履修開始年次	1年次	開講時期	第1学期	曜日・時限	水・6,7
担当教員	○印は担当責任者 ○山脇 京子（臨床看護学講座）（880-2531, y-kyou@kochi-u.ac.jp） 田淵 啓二（地域看護学講座） 齋藤 美和（地域看護学講座）（880-2551, saitomiw@kochi-u.ac.jp） 杉本 加代（地域看護学講座）（880-2559, sugikayo@kochi-u.ac.jp） 小笠原 木綿（地域看護学講座）（880-2565, ogayufu@kochi-u.ac.jp） 和田 庸平（地域看護学講座）（880-2747, youhei-wada@kochi-u.ac.jp）						
オフィスアワー	金曜日5限 *他の教員について学内メールでアポイントとる						
学生の相談場所	各領域の共同研究室						
履修希望学生に求めるもの	①成人・老人看護学演習（2）を履修する ②各回の授業の事前学習・課題の有無、使用テキスト等について、事前に担当教員に確認する						
キーワード	ヘルスプロモーション、慢性疾患、ケアマネジメント、介護予防、認知症、地域包括ケア 法的思考						
科目の目標（到達目標）	①地域で生活するあらゆる健康レベルにある人を対象としたヘルスプロモーションの概念を軸として、健康寿命の延長に資する保健行動の支援や包括的なアセスメントを学ぶ。 ②慢性疾患をもちながら地域で生活する人と家族のQOL向上を目指したケアとケアマネジメントを学ぶ ③介護保険制度等の社会資源を活用しながら、地域で生活する高齢者と家族のQOL向上を目指したケアと終末期ケアを学ぶ。 ④過疎高齢化が起きている地域で生活する人への支援や課題について検討する						
授業計画	1. 地域生活者介護（概論） 2. 地域で生活する人々のヘルスプロモーションⅠ 3. 地域で生活する人々のヘルスプロモーションⅡ 4. 在宅におけるケアマネジメントⅠ 5. 在宅におけるケアマネジメントⅡ 6. 地域包括ケアⅠ 7. 地域包括ケアⅡ 8. 認知症ケアⅠ 9. 認知症ケアⅡ 10. 慢性疾患を持ちながら生活する人々への支援Ⅰ 11. 慢性疾患を持ちながら生活する人々への支援Ⅱ 12. 介護予防Ⅰ 13. 介護予防Ⅱ 14. 過疎高齢化地域で生活する人への支援Ⅰ 15. 過疎高齢化地域で生活する人への支援Ⅱ						
成績評価方法	各回のプレゼンテーション内容、討議内容、課題レポートの内容等により総合的に評価する						
教科書・参考図書	各回の授業において、適時紹介する						
履修上の注意							

授 業 日 程 表

授業科目：成人・老人看護学特論Ⅱ

講義回数	授業日 (年月日)	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	6月5日	水	7	地域生活者への看護支援（概論）	山脇京子	各担当教員が所属する階の共同研究室
2	6月12日	水	6	地域で生活する人々のヘルスプロモーションⅠ	杉本加代	
3			7	地域で生活する人々のヘルスプロモーションⅡ	杉本加代	
4	6月19日	水	6	在宅におけるケアマネジメントⅠ	小笠原木綿	
5			7	在宅におけるケアマネジメントⅡ	小笠原木綿	
6	6月26日	水	6	地域包括ケアⅠ（地域ベース）	杉本加代	
7			7	地域包括ケアⅡ（病院から地域へ）	小笠原木綿	
8	7月3日	水	6	認知症ケアⅠ	田淵啓二	
9			7	認知症ケアⅡ	田淵啓二	
10	7月10日	水	6	慢性疾患を持ちながら生活する人々への支援Ⅰ	齋藤美和	
11			7	慢性疾患を持ちながら生活する人々への支援Ⅱ	齋藤美和	
12	7月24日	水	6	介護予防Ⅰ	田淵啓二	
13			7	介護予防Ⅱ	田淵啓二	
14	7月31日	水	6	過疎高齢化地域で生活する人への支援Ⅰ	和田庸平	
15			7	過疎高齢化地域で生活する人への支援Ⅱ	和田庸平	

授業コード	16819	授業科目名	成人・老人看護学演習（1）			単位数	2/4単位
授業種別	講義	履修開始年次	1年次	開講時期	第2学期	曜日・時限	金・6,7
担当教員	○印は担当責任者 ○山脇 京子（臨床看護学講座）（880-2531, y-kyou@kochi-u.ac.jp） 佐藤 美樹（臨床看護学講座）（880-2555, m-sato@kochi-u.ac.jp） 高橋 美美（臨床看護学講座）（880-2562, takam@kochi-u.ac.jp） 小笠原 木綿（地域看護学講座）（880-2565, ogayufu@kochi-u.ac.jp） 寺下 憲一郎（臨床看護学講座）（880-2436, k-terashita@kochi-u.ac.jp） 和田 庸平（地域看護学講座）（880-2747, youhei-wada@kochi-u.ac.jp）						
オフィスアワー	事前連絡により対応						
学生の相談場所	7階共同研究室および担当教員の研究室						
履修希望学生に求めるもの	主体的な学習と探求心						
キーワード	質の高い看護実践能力						
科目の目標（到達目標）	病院や医療機関、地域・在宅で療養する成人・老人に対して、他職種と連携し看護専門職として継続した質の高い看護実践ができるための知識及び技術を学び、職能の向上に寄与する。						
授業計画	1. 糖尿病看護 2. 精神看護 3. がん看護 4. 集中ケア 5. 医療連携 6. 訪問看護 7. 自己の課題の探求 8. プレゼンテーション・まとめ						
成績評価方法	学習への取り組み方、プレゼンテーション、レポートより総合的に評価する						
教科書・参考図書	適宜提示する						
履修上の注意	学習効果を高めるために自己学習や課題を持って授業に臨みましょう						

授 業 日 程 表

授業科目：成人・老人看護学演習（1）

講義回数	授業日 (年月日)	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1, 2	10月11日	金	6, 7	糖尿病看護	佐藤 美樹	看護学科棟7階・成人看護学共同研究室
3, 4	10月18日	金	6, 7	精神看護	高橋 美美	
5, 6	10月25日	金	6, 7	がん看護	山脇 京子	
7, 8	11月1日	金	6, 7	集中ケア	寺下 憲一郎	
9, 10	11月8日	金	6, 7	医療連携	小笠原 木綿	
11, 12	11月15日	金	6, 7	訪問看護	和田 庸平	
13, 14	11月22日	金	6, 7	自己の課題の探求	個人ワーク	
15	11月29日	金	6, 7	プレゼンテーション・まとめ	全員	

授業コード	16819	授業科目名	成人・老人看護学演習(2)			単位数	2/4単位
授業種別	演習	履修開始年次	1年次	開講時期	第2学期	曜日・時限	木・6,7
担当教員	○印は担当責任者 ○山脇京子（臨床看護学講座）（880-2531, y-kyou@kochi-u.ac.jp） 田淵啓二（地域看護学講座）						
オフィスアワー							
学生の相談場所	各領域の共同研究室						
履修希望学生に求めるもの	成人・老人看護学特論Ⅱを履修すること						
キーワード	研究論文 クリティーク 研究計画書						
科目の目標（到達目標）	成人・老人看護学領域における研究について、先行研究をクリティークすることにより最新の知見を得るとともに、自己の研究課題や研究方法を明確にし、研究計画を作成する。						
授業計画	1. 2 研究方法論（概論）・リサーチクエスション 3. 4 研究枠組・論文クリティーク 5. 6 研究枠組・研究の動向 7. 8 研究計画について 9. 10 受講生のプレゼンテーション 11. 12 研究計画書作成1 13. 14 研究計画書作成2 15. 16 研究計画書作成3						
成績評価方法							
参考図書	適宜紹介する						
履修上の注意	教室は事前に連絡する						

授 業 日 程 表

授業科目：成人・老人看護学演習（2）

講義回数	授業日 (年月日)	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1, 2	10月3日	木	6, 7	研究方法論（概論）・リサーチクエスチョン	山脇京子	看護学科棟7階・成人看護学共同研究室他
3, 4	10月10日	木	6, 7	研究枠組・論文クリティーク	田淵啓二	
5, 6	10月17日	木	6, 7	研究枠組・研究の動向	山脇京子	
7, 8	10月24日	木	6, 7	研究計画について	山脇京子	
9, 10	10月31日	木	6, 7	受講生のプレゼンテーション	各教員	
11, 12	11月7日	木	6, 7	研究計画書作成1	担当教員	
13, 14	11月14日	木	6, 7	研究計画書作成2	担当教員	
15	11月21日	木	6, 7	研究計画書作成3	担当教員	